

第2回 公共施設再編に係る  
市長との意見交換会  
～意見集約表～



## 市民文化系施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>市民総合センターは、今だんじりの集合場所になっている。お祭りのする広場というのは、今でも狭いと考えるが、ああいう広場は、将来どこかに設置する予定はあるのか。</p>	<p>一定の面積のある広場は、偏って市内にある状況です。どちらかという岡山地区は恵まれている方になるが、我々としては公園というような形でそれぞれの地域に整備していきたいと考えています。市域全体としてはそれぞれのエリアに公園、東小跡地とか、くすの木園跡地とか、北出小跡地とか、それぞれに一定の面積で集まれる場所を整備していきつつ、駅前については、今まで以上に柔軟に使っていけるような形で対応していきたいと考えています。</p>
2	<p>市民総合センターを旧南中学校跡地に移すというのは、アクセスのしにくさから無理があると思います。</p>	<p>公共施設を考える上で、道路については共に考えていかなければならないと考えています。府道 170 号線の整備予算が大阪府に付いたので、拡幅にむけて進んでいる状況です。用地の買収も発生するので道路整備については丁寧に行って参ります。公共施設周辺の道路整備についても都市整備部局と協議しながら進めてまいります。</p>
3	<p>市民総合センターはどれくらいで再編されるのか。</p>	<p>市民総合センターを移転するには、まずは南中学校の跡地を整備しなければなりません。そのためにも、この公共施設再編計画を8月までに策定したいと考えています。本計画が策定でき次第、総合センター機能を含む複合施設の設計にすぐに取りかかる予定です。</p>
4	<p>市民総合センターについてはかなり痛んでいるという説明があったが、築37年で、長寿命化1で躯体の点数は70点である。躯体については、それほど痛んでいない状況である。外側の衣は傷んでいるが躯体については使えますよと。長寿命化は躯体を使いなさいと言うことで、長寿命化できないと言うことではないので、移転する根拠にはならないと思うがその点はどのように考えられているか。</p>	<p>基本的には既存施設を改修して長く使うという考えであります。その中で公共施設全体をどのようにしていくのか、地域地域ごとに事情がある中で、全体としてどのように配置をすべきかについて、地域の方の意見交換やワークショップなど全ての意見を聞かせていただいた上で最適な配置を考えるという考えの中から今の案になっていると理解していただければと思います。</p>
5	<p>市民ホールの縮小は寂しく思う。財政的な理由だけで文化の拠点を縮小するのは、子どもたちの感性の発達にも好ましくないと思うので、なんとか充実したホールを整備してほしいと思う。</p>	<p>文化の中心である市民ホールは、いろんな方々から様々なご意見を頂いております。700人のホールは利用のしにくい規模であり、小規模で少数でも利用しやすいホールか、大規模で大きなイベントが出来るホールのどちらかにして欲しいと意見が多くあり、第3案では、市全体を見たうえで、維持管理のできるホールは300人規模の小ホールとさせていただきました。</p>

6	<p>ホールが小規模になるが、総合体育館を利用したイベント等はできないか。</p>	<p>実際、総合体育館(サン・アリーナ)では、席を設けて防災講演会等を行いました。南中学校跡地に建設予定の体育館についても、頂いたご意見を踏まえながら多様な活用方法を考えていきたいと思ひます。</p>
7	<p>小規模ホールに変えるとあるが、大きな催し物とかを実施しようとする、1200人ぐらゐ収容できるホールが必要と考える。大きな物にして、ケースに応じて小規模ホールを4つぐらゐに分けて使うなどの考えはないか。</p>	<p>1000人超えを収容できる大ホールと300人ぐらゐ収容できる小ホールと両方あれば、一番いいですねという話があり、もちろんそのような施設があれば一番いいと考える。ただ、本市の規模のまちでどこまで整備していくのか。年間利用率が20数パーセントというのが現状であり、我々としては、より身近にホールを活用していただく方がいいんじゃないかという考えから、200、300人程度の一定規模の方が使いやすいなんていう声もあったので、その方向で考えています。大きいホールとなると、例えば南中の跡地に体育館を整備するので、椅子を並べ、一定のキャパの催し物ができるようにしていくというところは考えられます。1000人以上のホールというのは、今700人でも稼働されてないので、難しいのかなっていうところでもあります。</p>
8	<p>市民ホールの大きさについて700人規模という使いにくい大きさから、300人規模になれば、もっと利用率は減ると思う。</p>	<p>市民ホールについてですが、様々な意見をたくさんの人から頂いています。将来に負担を先送りしないという点において、少数でも使いやすい小規模なホールという選択になります。</p> <p>今後の市の動態によって、計画も見直します。</p>
9	<p>今回の再編で市民ホールが300人規模になるというが、もう少し具体的な整備内容等を聞きたい。また、利用者層のイメージなども聞きたい。</p>	<p>現在の市民総合センターの市民ホールは、700人収容できる規模で、大がかりなコンサートホールにしては採算が合わない、また、ピアノの発表会などを開催しようとするれば少し広すぎ、設備面等についてもいろいろご意見をいただいているところでもあります。現時点での利用率は3割程度であり、我々としては規模を縮小するというより、年間を通して利用頻度が高いホールをめざしたいという考えである。そのためには、例えば音楽に主眼を置くのであれば、そういう所にしっかりと工夫を凝らしていきたいと考えています。また、座席等については、車椅子の方や、子育て世代で赤ちゃんが一緒に観覧できる席があつたりするなど、具体的な設計については、今後、内容が固まり次第、進めていきたいと考えています。</p>

10	教育文化センターと教育センターとの違いを教えてください。	教育文化センターについては音楽をするようなスペースがあったり、それぞれ部屋があったり、市民や団体の方が活動する際に借りられて活動する場所です。教育センターとは、引きこもりや不登校のお子さんなど、学校に行くのは難しいけど、本施設に来ていただいてお話をさせていただきながらカウンセリングなどの対応や市域の教育の質の向上のための研究を行っているというような教育委員会組織の一部です。
----	------------------------------	--

## 社会教育系施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	歴史民俗資料館の移転について、もう利用しなくなるということか。	場所の移動については激論しました。ただ、現状のアクセス面を考慮すると展示機能については、アクセスしやすい場所に移転します。ただ、現歴史民俗資料館（土蔵）は歴史的な価値があるので保存していきます。
2	歴史民俗資料館は、東高野街道のすぐ側にあり歴史好きや小学生が多く見学に来る。できれば施設移転をするのではなく、駐車場の確保等をして既存の位置においておけないか。	歴史的価値があることはしっかり理解しています。ただし、その場所にバス等がアクセスできるように整備するには多額の費用が必要になります。あの建物自体を無くすことは、私(東市長)も反対ですが、歴史を人々に伝える資料館としての役割を果たすには、他に最適な場所があると考えます。ですので、歴史的な文化財と資料館は分離して考えて行きたいと思います。
3	図書館の本館はどこに行くのか。	図書館は、高齢者が歩ける一定の範囲にあればという意見がある。大きな図書館は、南中学校跡地の市民総合センターと田原支所にあり、これに駅前と国道170号の西側に小規模図書館を設置していきたいと考えている。
4	歴史民俗資料館は、今後どのようなになるのか。	歴史的な価値が非常にある歴史民俗資料館ですが、市民のワークショップ等でも、四條畷の歴史や文化を多くの人に知ってもらうには、バス等も入りやすく立地条件は非常に悪い為、もっとアクセスのしやすい場所に移転してはどうかという意見がありました。そういった意見を踏まえ、新たに建設する総合センターの中に複合しようと考えています。跡地については、土蔵を含め歴史的資料として活用方法を考えながら維持していく考えです。
5	42ページに野外活動センターについて掲載されているが、具体的にどのようなようにしていくか教えていただきたい。	野外活動センターは四條畷の特徴を表すもので、無くしていくべきではないと考えています。次のページに広域化とありますが、近隣市で野外活動センターを持っている市と持ちたいなと思っている市と共同で利用すれば、四條畷市だけで施設維持費を払い続けなくてよいので、市の負担が軽減されます。
6	(野外活動センター)近隣市、例えば寝屋川市、生駒市、大東市も持っているので、そちらの方に委託してしまうのか。	そのような考え方も広域化と考えます。ただし、現時点では他市も関係してくるので決めきれません。併せて、複数市でそれぞれ持っているけど、今後の将来を考えると環境センターや給食センターなどについてもそれぞれで持つ必要は無いと考えています。
7	給食センターや野外活動センターにおける近隣市との広域化とあるが、これはどこの市を想定しているの	例えば寝屋川市と四條畷市で、四條畷市にある野外活動センターを使うということも考えられます。広域と

	か。	<p>いうのは必ず他にいかないといけないというよりは他市と一緒に四條畷市のものを使ってもらおうという考え方もあります。また、給食センター等についても、例えば寝屋川市の南部にある小学校などの給食を作る代わりに一定のお金を支払ってもらう。それも広域化になってくるので必ずしも、他に移転するというのではなくて、本市の施設も使いながら他市に展開していく可能性もあれば逆に市としては持たずに、他市の施設を使わせてもらうなど、どちらのパターンも考えられます。</p>
8	<p>歴史的収蔵物について、新しい施設に保管場所は設けてもらえるのか。 また、審議会等の意見は聞いているか。</p>	<p>展示物だけを移転し、収蔵物は破棄するといった考えはありません。保管すべきものはしっかりと保管していきたいと考えています。</p> <p>現素案について、各関係機関とは連絡調整を図っています。この意見交換会を踏まえ、さらに案を絞っていく際には、再度、各関係機関と調整を図ります。</p>
9	<p>身近に利用できる図書館サービスの中で、民間カフェとあるが、ツタヤやスターバックスが入ってくると、すごく魅力的になると考えるが、なにか具体的な話はあるのか。</p>	<p>公共と民間との共同でやっていくこととなりますが、忍ヶ丘駅であったり、四條畷駅であったり乗降者数等によって出店するかは現状わかりません。どのような条件で今持っている市有地を民間に貸し出すのかという問題になってきます。今後、この整備計画がまとまれば、各種企業とヒアリングを行いながら、話を進めていこうと考えています。</p>
10	<p>図書館と保育園のサテライトというのはいい考えと思うが、富山県のある市の駅で利用者が5000人であったが、駅に図書館を設置したら1万人になったという事例がある。ただ、気になるのが保育所と併用していった際に、図書館を利用する人の時間制限が発生するのではないか。</p>	<p>図書館の開館時間については、運用面の中で考えていくが利用が高い時間帯に閉じているなどはないようにしていきたいと考えています。また、図書館の配置についてですが、四條畷市には市民総合センターにメインとなる図書館があって、田原にも大きな図書館があります。本市の人口規模を考えると、同規模の図書館の建設は考えていませんが、一定規模の図書館でやらせていただきたいと考えています。</p>

## スポーツ・レクリエーション系施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>市民総合体育館があるが、いずれ民営化されると記載されてあったと思うが、南中学校跡地にも体育館を建てるというが、施設が多いということはないか。市民総合体育館について利用率は高いが、儲かっていないと思う。この施設を売却してしまうなどの考えはないか。</p>	<p>公共施設なので儲かってるという観点からでは見ていませんが、基本的には稼働率の高い施設と考えています。南中学校跡地での体育館を整えるといっても市民総合体育館ほどではありません。そこについては市民の皆さんがどう判断されるか、これがなくなるとなると、どこでスポーツしていくんだという疑問には答えられないといけません。市民総合体育館は人気があり、9割ぐらいの稼働率があり、無くしていくというのは難しいです。将来的には人口も減って、稼働率が下がってきたら、民営化する、或いは広域化で他市の人も使える施設にする必要があるのかなと考えています。</p>
2	<p>旧北出小学校は、北出町の衰退のシンボルになっているような感じがある。そこに関してもようやくメスが入るのうれしいと思う。全てを広場にすることはないのかなと、一部は住宅地にするなど住民を呼び込むなどを考えていただければと思う。</p>	<p>旧北出小学校の地域については、土地としてはすごくいい土地と考えます。もし、この土地を売却するとなれば相当な額になると思われるが、地域の方が地域の発展を思っこの土地を小学校にしてきた経過もあります。くすのき小学校との多機能化を進めていけたらと考えていますが、小学校において想像していない大人が入ってきて、子どもに対して危険な目に遭ったという事案が起こりうるとなると、大人と子どもが行き交うのが難しいという結果になるかもしれません。そうなれば、旧北出小学校跡地に施設が必要になってくるかもしれません。宅地化については、丁寧に考えていきたいと考えます。</p>
3	<p>給食センターと市民総合体育館に広域化という言葉を使っているが、具体的にどことどの広域化を考えているのか。</p>	<p>現時点で、具体的に決めているのではなく、どこかと共同で運用することで費用を抑えていく考えです。例えば、給食センターは、すでに広域化みたいなことを実施しており、大阪府が所有している交野支援学校へ給食を供給しており、収益を上げています。こういうことを広域化と考えています。市民総合体育館については、例えば、寝屋川市についても複数所持するのが難しく、寝屋川市の一部の地域の方については、市民総合体育館を利用させていただきたいということであれば、2市で行う分、維持改修費などを寝屋川市に負担していただくことで四條畷市の税負担を軽減していくということを広域化と考えています。</p>



4	<p>市民活動センターの再整備についてであるが、かなり広い敷地になると思うので、それを全てボール広場と憩いの広場に活用していただけるのか。市民活動センターの多目的室が無くなってしまうと、くすのき小学校を利用されるという案が出ているが、いつ頃から編成されるのか。</p>	<p>市民活動センターは老朽化が進んでおり、非耐震施設でもあるので、これは数年以内に、受け入れ先が整い次第、移転をさせていただきたいと考えていますが、学校施設の多機能化については、市内ではまだ実施していません。十数年前に小学校等に不審者が入って悲惨な事件が起きたという事件もあります。学校施設の多機能化の課題はたくさんあります。いつでも大人が入れるとなると子どもたちの安全面で不安だという意見があります。他市では入り口を完全に分離して、施設は一体利用するけれども子どもと大人が出会わないような構造にしていたりします。実際に受け入れられるのかどうか、校長先生も含め対応が可能かどうかも含めて、これから検討させていただくと同時に、必要な整備もしていけないといけないと考えます。万が一、多機能化が難しいと言うことになれば、市民活動センター跡地の一部を使って会議室と多目的室を体育館の横に設置することも考えなければなりません。また、逆のご意見として売却すればいいのではないかという意見もありますが、ここ自体が学校を建てると言うことで寄贈いただいた点、外環状線を挟んで西側の地域については、ほとんど公共施設がない、憩える場所がないとなるとエリア毎で何らかの形で歩いて行ける場所に集える場所、多世代のコミュニティが非常に重要になってくると言う観点から、なるべくこの全面を生かした形で公共の施設として残していきたいという考え方です。</p>
5	<p>体育館について、独立した建物ではなく、ホールと体育館を兼ねれば良いと思う。財政的に苦しいからこそ考えて予算を使うべき。</p>	<p>体育館について、様々な案を多くの方から頂いています。使いやすいような施設づくりを考えて行きます。</p>
6	<p>市が持っている公園、例えば、北谷公園や青少年コミュニティグラウンドなどは、もう少し活用できないのか。他自治体については、草野球のツアー等を行っており、野球をして宿泊できるような活用をしている。そのような、財産に付加価値をつけて活用してはいかかがか。</p>	<p>本市では友好都市として紀北町があります。きれいな水と空気、広大な土地があり、宿泊施設が栄えている町です。その中でスポーツ団体等と呼ばれ、町内にある施設に宿泊していただいて利益を得られて潤っている例があります。本市においては、基本的に都会となるので、既存の施設で宿泊施設を伴って利益を上げるというのは難しいと思います。四條畷市としては、そこで利益が得られない分、宅地がいっぱいあるので市民税という形で市政を運営しています。ただし、青少年コミュニティグラウンドにおいては、もっと活用していけたらと考えているので、ここについては、公園化するので多くの方が利用できるように考えています。</p>

## 学校教育系施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	39ページでは、防災機能を有した体育館があり、田原地域には防災拠点の田原小学校があります。防災機能や防災拠点として、遠い地域があるが、これについてどう考えるか。	防災拠点とは、避難ができる場所という考え方です。南野地区については、東小・南中の廃校に伴い防災拠点がなくなることから、防災機能を兼ねた体育館を再整備しようと考えています。
2	西部地域で身近に遊べる公園の拠点整備とあるが、岡部小学校地域については、具体的にどのあたりになるのか。	岡部小学校地域については、市の持っている土地がない状況であり、学校の校庭を活用していきたいと考えています。しかし、具体的にどのように行っていくのか、安全性の問題などについて教育委員会と協議を行ってまいります。
3	前市長の計画とどう違うのか。国道 163 号以南の地域がおざなりになっているイメージは否めない。こういった計画において、教育現場の声はどれだけ吸い上げられているのかと思う。どうか学校現場の声を大切に、教師たちがいきいきとするような改革を進めてもらえればと思う。	この公共施設の再編に関して、学校の先生方からもアンケートを取り、ご意見をいただいております。変化がある部分について、メリットやデメリットなど参考にさせていただいています。また学校だけではなく保育所等の各種関係機関とも意見交換を行い、力を合わせて頑張っています。 教育の部分についてですが、教育振興ビジョンと呼ばれる、多岐にわたって教育における事項が定められた計画があります。本年度は、子ども、教員ともに1人1台パソコンを持てるように予算を措置させていただきました。教員がいかに子ども達に向き合える時間を作れるか、教育委員会と教員の間で協議を図り、働き方改革を行っています。
4	よく計画されているが、市民に吟味する時間が欲しく、このまま集約すべきでないとする。その中でプールについて学校のプールを無くすのはあり得ない。文科省の水泳の授業を充実させろという通達を受けて整備してきた歴史を逆行している。天候のことを想定したカリキュラム作りを学校はしていない。雨天でも授業を出来るようにと屋内プールにするのはおかしい。	現代の教育は求められるものが多くなってきており、四條畷市も子どもたちに充実した教育を受けて欲しいと思っています。プールの授業も楽しく、水泳のスキルを身に付けて欲しいと考えており、時代が前進しているからこそ、その流れに沿った必要な教育整備(予算措置)が必要だと考えております。 計画の策定は焦らずにして欲しいというのは、その逆もございませぬ。老朽化している建物があって、早く整備して欲しいという声もございませぬ。それぞれの意見があつて然りです。全ての計画が決まるまで動けないとなると、何も課題の解決ができません。1歩ずつ進みながら、絶えず軌道修正を出来るようにしていこうと思っています。この個別施設の計画案については平成27年から動いていることですので、一旦結論を出したいと考えています。
5	学校は地域のコミュニティ拠点として維持すべきだ。改築・再整備より長寿命化を基本とすべき。	すべて長寿命化をすべきということについて、次世代に一気に負担がのしかからないようにするために、負担を均

		していくという方向性について変えるつもりはありません。
6	温水プールを作ろうと思うと70億円かかる。さらに設備維持費で年間4千億円。これは5つの学校のプールを維持するのに等しい。それならば防災設備の点もかねて、学校にプールを残すべき。	プールについてご試算されたということで、資料を頂ければと思います。市も専門職が試算しましたが、そこまでの金額にはなっておりません。
7	文科省からの通達で学校を設立する時には、プールはあるものと認識しているがどうか。	文科省の要領の中に、授業数の目安等がありますが、必ずプール授業をしなければならないという決まりはありません。
8	39頁に東部ゾーンの小中一貫校を見込んだ試算と書かれているが、45頁の10年後資料では別々にある。これは、今後、どちらかに統合されるということでないのか。	教育環境をより良くしていくという観点から学校再編整備計画を策定させていただきました。学校再編整備計画の中で、田原小学校と田原中学校について、中長期的に統合を図っていくという内容を記載させていただいています。現時点でどちらに統合するのと言われますと、より安全な田原小学校へ統合をさせていただく考えです。
9	中長期的に考えているのであれば、2039年度の将来図に書いておくべきでは。	学校の統廃合のことについては、教育委員会が決めることですので、公共施設に関する説明会の資料なので、記載するのが妥当ではないと考えております。また、中長期的な話ですので、将来的な人口によっては統合をしない可能性もございますので、統合した形で記載しておりません。先ほど述べた学校再編整備計画の中には、明記させていただいておりますので、そちらの計画と併せて考えていただければと思います。
10	小学校のプールの話であるが、西部地域では民間プールの活用となっており、第1案、第2案では西中学校の	プールについては、学校が老朽化してきているということはプールも老朽化してきているので、現在、全国で様々

	<p>プールを活用するということであるが、これは最終的にどのような方向性を考えているのか</p>	<p>な取り組みが行われていますが、最近広まっているのが民間プールの活用です。水温により体調が悪くなったり、日差しがきつくなってきているので屋根があると40度近い日差しを浴びなくて済みます。また衛生管理が行き届いている水の中で授業が出来ます。学校のプールは外から丸見えですが、民間プールであると一定制限されておりプライバシー面、セキュリティ面の関係からハード設備上、民間プールを活用した方が子どもたちにとっていいのではないかと、それに加えて教えるのもプロのインストラクターの方が子どもたちにとっても水泳が楽しいと感じる機会が増えてきている事例が少しずつ出てきていることから、四條畷もこのような考え方に取り組めたらと考えています。今後市内の事業者との協議調整となりますが、そちらにバス等で移動して授業を行うことを考えています。ただ、新しい取り組みなので全校一斉に行うのではなく、モデル校として、1校ないし2校とやっていく中で、どのようにやればより良くなるのか、試行のうえ難しいとなれば、各学校のプールを利用してやっていくという考えです。</p>
11	<p>人口減少により2校程度の学校の廃校を見込んでいるとあるが、学校を減少しなくても減築をすれば床面積が減り、建築費も減りかつ長寿命化すれば廃棄物も減る。減築という形を、市長部局として長寿命化を前提として考えるという前提に立っていないのか。それとも学校を統廃合する前提なのか。</p>	<p>この計画を持って学校を2つなくすと言っているのではなく、もしそうなった場合はそうであるとわかりやすくしているだけです。学校の環境というのは、子どもたちの教育環境がどういうものが望ましいのかという観点で考えられるもので、市長部局において床面積がどうのこうのということで、学校に対してアプローチしていく考えはございません。学校再編整備計画の策定した中で進めていくものでございます。ただ、30年40年もずっと全部が残っているのは試算としても不自然であり、人口減少に合わせた部分を見込んでいるだけであって、減築を否定しているわけでもなく、長寿命化を否定しているわけでもありません。総合管理計画の基本方針というのは、基本方針にも書かさせていただいているとおり、地域の方々がどこにも顔を合わせていく機会が無い町ではいざというときは脆弱であるので大事にしていきます。私たちの世代が、多くの借金をしていくこともできますが、借金を後の世代に残していくことになるので、そうしていかないというのが基本方針でございます。</p>
12	<p>小学校のプールを無くして西中学校のプールを使用とのことだが、送迎等はマイクロバスで行うのか。</p>	<p>第3案は民間プールを使用します。移動手段は、マイクロバス等を利用します。</p>
13	<p>民間プールを使用するとなった時、別途保護者に費用がかかるのか。</p>	<p>いえ、別途費用はかかりません。</p>
14	<p>西部地域の校庭開放も視野にとの部分だが、教職員の</p>	<p>昔に比べて教員一人一人の職務の量が非常に増えて</p>

	働き方改革が進む中で、どのように運用していくのか。	きています。そんな中で子どもたちにもっといい教育を行うための勉強をできるように、なるべく教員の負担を減らしていこうとしています。そこで、地域の方のお力を借りたいと考えています。平成31年度に地域の人たちと話し合いを進めていこうと思っています。
15	西部地域は民間プールを活用するということであるが、小学校にプールをなくして民間プールに移動することになると安全確保が重要になる。子どもたちが我慢するのではなく、大人たちが我慢するということを考えてほしい。このまちに住みたい、町から出て行かない観点からプールのない小学校の町に住みたいのか。また、災害時にプールの水を活用するという災害対策の面もあるので、その点もお聞きしたい。	小学校のプールの稼働率は2ヶ月間程度であり、全国的にもプールの集約化が進んでいます。子どもに我慢してもらおうという考えはなくて、プロの方に教えてもらう、衛生面が安全、日焼けしない、温水であるなど、子どもに好評という点があります。バスでの移動を見込んで費用対効果が高く、効果のあった費用は、子育て、教育に投資していきたいと考えます。ただし、一気に全部なくすのではなく、老朽化が進んでいるプールから始めて、先生、子どもたちの声も聞きながら順次進めていき、従前の方がいいということであれば戻していく考えです。
16	交野市のプールは年間1億円の赤字になっていると聞いている。そのあたりのリスクは大丈夫なのか。	利用料としては、5校分あるので事業者にとって、一定の利益が出るのかなと感じています。また、西中学校のプールもあるので、直ちにできなくなることはないと考えます。
17	セントラルプールに元々通っている方はどうなるのか。	ヒアリングの中では、今の現時点では受け入れは可能と聞いています。
18	民間プールを活用するとあるが、小学校の父兄などは納得しているのか。	全国的に少しずつ民間プールの活用というのが、進んでいます。指導がプロの方になるので、水泳が楽しい思ってもらえるという面があったり、衛生管理がしっかりと行き届いているなども含めて、民間プールの活用事例が増えてきています。移動はバスで行っています。ただ実施してどのようになるかという声もありますが、その点については保護者の方と順次意見交換をしていきたいと考えています。ただ、一気に全校が民間プールになるとかではなくて、まず一校で試してみて、感触を確かめながら、やっぱり難しいとなれば、その学校内でプールを維持できたらいいなという考え方です。
19	小学校のプールについてですが、1つの民間プールで市内(西部)小学校の全生徒の水泳の授業を賄うことは、	他市で既に導入している市町村もございます。民間プールを使用すると、プロのインストラクターの指導が楽しいであったり、温水で子ども達の体調管理もしやすかったり

	教育的に困難ではないか。	等、良い効果があります。移動に関しては徒歩ではなく、送迎バス等を使用します。屋内プールになるので、雨天などの天候に左右されずに授業を行えます。まずは試験的に1校だけ導入し、メリット・デメリットを踏まえたうえで、導入するかどうか判断したいと考えています。
20	西部地域は民間プールを活用するということであるが、授業では学校からの送迎を行うと思うが、夏休みなどのプール開放時の送迎などはどのように考えているか。	現在は、学校のプールについては、一般向けには開放は行っていない状況です。
21	ぜひ岡部小地域については校庭開放していただきたいと考える。私自身、今マンションに住んでいるが、子どもが遊びたいのに遊ぶ場所がないという状況になっている。マンションの中に小さな公園があるが、遊ぶ場所がないのでみんなそこに集まってくる。そこで、ボール遊びをしてガラスが割れたり、物が壊れたりとかがあるが、遊ぶなどとは言えない。しかし、マンションは居住者全員の資産なので、一部の方は苦々しく思っている状況である。子どもに遊ぶなどと言いたくないので、校庭開放であれば土地を購入するなどではないので早急に取り組んでほしいと考える。	子育て世代を中心に、多くの意見をいただく内容です。今は西部地域には大きな公園というのはありませんが、今回の再編に伴って、歩いて行ける範囲で公園を整備していきたいと考えています。
22	学校の校庭が安全上の観点から開放ができないと言われるが、それは解決できないのか	学校の校庭開放に関して、放課後の先生たちの業務を差し置いて、子ども達の遊びを見守らないとならないとなると、さらに先生の負担が増えます。そうならないような規則等はこれから決めて行き、モデル開放ということで様子を見て、順次、他の学校も開放していければと思います
23	校庭開放をするということだが、最初は子ども達が遊びに来たが、最終的には全然来なくなり、野球チームなどの団体が使うようになっていた。そういったことになると無駄な費用だと思う。	過去の経緯については、市も把握しております。ただ、数年前に校庭開放を試してみたら、多くの子ども達が遊びに来たということもありました。ですので、まずは1校をモデルにし、必要性に応じて順次、校庭開放を行っていくという方向性で進んで行きたいと思います。
24	小学校のプールがなくなると言うことであるが、プールの授業自体がなくなるのか、それとも民間のプールに委託をされると言うことであるが、これは子どもの意見や保護	小学校の既存のプールについては老朽化が進んでいます。今、全国的に民間のプールを活用してプールの授業をするという事例が増えています。なぜかという、温水

	<p>者の意見などを集約した上で決められたのか。</p>	<p>になるので水の温暖の差で体調不良を起こしにくく、衛生面が管理されているのできれいであるという理由や、太陽の日差しがきつくなっている中で民間のプールについては屋根があり体調管理がしやすい。また盗撮関係については学校のプールだと、どこからでも見れるが民間プールでは一定囲まれており盗撮されにくいなど子どもたちの水泳環境において安心安全の部分があります。また指導面においてもプロのインストラクターの方が指導されるので、水泳が楽しくなる、面白いというお子さんが現れていると言うことで全国的に民間プールを活用していこうという事例が増えています。学校での水泳の授業がなくなるのではなく、民間企業との協議は進めているが、決定については、意見交換会が終わって先の話なので、まだ決まってはいるが、子どもたちの視点に立てばこの方向で進めていけたらと考えています。</p>
25	<p>現在のプールの授業はどうなっているのか。また将来的にどうなるのか</p>	<p>昨年度は地震の影響により、特別な授業体制を取りましたが、平常時は通常通りプール授業を行っております。</p> <p>他市でも、民間プールの活用が広がっています。温水設備により体調管理がしやすい。雨天時でも授業ができる。周囲からの視線を遮れる。直射日光を浴びないなどの様々なメリットがあります。学校のプールというのは年間のうち2か月程度しか利用されていないという状況も鑑みて、本市でも民間プールへの移行を考えています。</p>
26	<p>プールにおける民間事業者は、市内にはセントラルスポーツしかないと思われるが、他にあるのか。また、セントラルスポーツとはすでに協議しているのか。</p>	<p>セントラルスポーツが民間事業者になると考えており、すでに協議は行っています。ただし、いろいろな可能性があるもので、ありきではなく、このような状況で進めていけるかの問いに対して、対応可能だという意見はいただいで進めているところであります。</p>
27	<p>西中学校のプールは温水プールと聞いたが、それを利用できるのは西中学校の生徒だけか。</p>	<p>工事の計画当初は温水プールを予定していたが、計画を進めていく中で工事費等の高騰があり、予算内で事業を実施できる事業者がいなかったため計画を変更し、屋根は付いているが、温水ではない普通のプールです。</p>
28	<p>今回の計画で、学校プールを廃止して民間プールの利用を図るとあるが、これは教育現場にとってすごく大きな変化だと思う。これについて財政面だけではなく、教育</p>	<p>おっしゃる通りです。他市でも実際に導入されているこのプールについてですが、そういった他市の事例を参考にすれば、温水での子ども達の体調管理面の負荷が少</p>

	現場の声も十分に聞いてほしいと思う	<p>ない事や、プロのインストラクターの指導が受けれて楽しい授業が行えること。直射日光を受けずに済むことなど、子ども達にとって多数のメリットがあります。こういったことからこの計画を進めたいと考えています。</p> <p>まずはモデルになる学校1校で実施して、また1校と、徐々に進めていければと思います。実際にやってみて難題があれば、また元に戻すということも視野に入れながら丁寧に進めていきたいと考えています。</p>
29	この再編における学校間の児童数の変化等を教えて欲しい。クラブの創設ができない理由に児童数の減少などを先生からは説明されるが、実際の数を聞かないと納得できない。	<p>平成32年からですが、暁中が 720 人前後、西中が 650 人前後、田原中 380 人前後となります。全中学校において少子化による生徒数の減少は進んでいます。</p>
30	南小学校は学級崩壊が起こっていると聞いている。暁中の参観にも行ったが、子ども達の声が大きく、先生が制御出来てない。子ども達の選択の幅が広がり子ども達にとっていい環境であって欲しいと思う。クラブが創設できない理由も、どのような条件をクリアしていけば創設ができるのかなどについて、保護者に示して欲しい。	<p>本日は、公共施設の再編がテーマになっております。ただし、教育委員会からも職員が来ていますので、機会を改め対応はさせていただきます。</p> <p>クラブについては、各学校のマネジメントによります。なにかしら課題があり創設出来ない理由などもあると思うので、一度、お話を持って帰らせていただき、対応させていただきます。</p>
31	教育現場において、子どもたちと教員の関係と並び、教員と保護者の関係もすごく大切。この関係は教育におけるソフト面が築いていく。ハード面を先行させてしまうと、ソフト面の身動きが取れず、教員と子どもたちの関係、保護者と教員との関係にひずみが生じてしまうので、ぜひともソフト面を大切にしたい。また、前市長の市政について訴訟を起こされていると思うが、この裁判結果次第では、この計画に影響が出ると思うが、これについてどのように受け止めるつもりか。	<p>行政について、司法からの何らかの判断がされた場合には、控訴していくのか、その判断を受け止めるのか、その時々々の事象において慎重に判断しなければなりません。その上で、今回の件については、この計画に影響を及ぼす案件ではない為、地域の皆様が一刻でも早く安心して生活を送れるように、この計画を進めてまいります。</p> <p>ソフト面についてですが、本日は公共施設のお話をさせていただいているので、ソフト面についての印象が薄いですが、行政としてはソフト面の充実をより重視しています。平成 30 年 9 月に総合戦略の改訂をさせていただきました。その中で、福祉や教育や子育てに関するソフト面の充実を図らせていただき、ソフト面の方向性が定まってきたので、個別施設計画を順次進めているということです。</p>



## 子育て支援施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>駅前 タイムズを時間外の保育ステーションにするという考えであるが、保育施設というのは非常に費用がかかる。他市では、保育ステーションをうまく運用されているが、本市ではそこまで必要性を感じられないと思うことと、今、働き方改革が進み、労働時間も5年前から見ると短くなってきている。この社会情勢を考えると、この保育ステーションを、四条畷駅、忍ヶ丘駅の両駅前に設置するのは政策的に考えていかなものかなど考える。</p>	<p>懸念点というのは十分考えられると感じています。国としても働き方改革を進めている中で、本来は時間外にならない時間帯にお迎えに行くのが理想と考えますが、現実的にはそうではないと思われます。また、現在はタイムズとして運用していますが、そこまで収益を上げているというわけではりません。人口ビジョンから1600人も人口が下がってきている状況を踏まえ、同時に2カ所設置することは考えていませんが、おそらく忍ヶ丘駅の方が先になるかと考えています。実際に設置して効果を検証し、効果があるならば四条畷駅の方も整備を進めるという考えであります。難しそうであれば、子育て関連施設ではなく民間の活力、PPPなどを活用しながら、違う施設に転用した方がいいのではないかとということになれば、その方向性で進めます。</p>
2	<p>駅前の保育ステーションというのは、忍ヶ丘駅か四条畷駅かどちらを考えているのか。四条畷駅は大東市になると考えるが。</p>	<p>両駅前を考えています。四条畷駅自体は大東市ですが、駅前西側タイムズの北側半分の駐車場は本市が保有している土地です。</p>
3	<p>第3案が一番有力であるとのことであり、あおぞらこども園が市民総合センター跡地に移転するとのことであるが、駅前に保育所が必要と考える。現在も忍ヶ丘駅近くの民間保育園が定員オーバーの状況になっている。</p>	<p>お示しの通りだと思います。市の中央部分に整備させていただくことで、どのエリアからもお子さんを預けて出勤ができるように考えています。駅を利用される方については、駅前の時間外保育を利用いただき、市域全体の子育て世代の方が子育てしやすい環境を整えていければと考えます。</p>
4	<p>時間外保育の拠点イメージですが、設置場所としては四条畷駅の西側のタイムズ駐車場のところか。駅と併設ではないということか。</p>	<p>そのとおりです。場所はアカカベ横のタイムズの北側部分です。</p>
5	<p>岡部保育所の移転の件ですが、移転する段階で駅前に並行して時間外預かりの保育所を作ってもらえるということか。</p>	<p>岡部保育所について、今後20年間は残していく考えです。人口推計でいくと、保育所に入る年齢のお子さんの数が100人減り、岡部保育所を残していくと、民間保育園の子ども数が減り、経営が難しくなります。そのため、岡部保育所を閉じるという考えです。時間外保育施設というのは、あくまで時間外保育になってくるので、岡部保育所の機能がここに来るということではありません。</p>

6	<p>あおぞら子ども園が移転するときには、駅前に早朝夜間に預かることができる施設ができていますのか。</p>	<p>あおぞら子ども園については、相当老朽化が進んでいるので、早急に市民総合センターに移転する予定ですが、この市民総合センター部分に移転しようとすると、先に機能をこちらに移転するのが先になってきます。こちらについてはなるべく早期にさせていただいた後にその後移転となりますので、駅前時間外保育拠点と、同時なのか前後なのかというところは同時期と考えています。</p>
7	<p>公立の保育所は絶対に残して欲しい。民間の保育園は保育士が不足して、子ども達の安全面に不安だ</p>	<p>公立保育園についてですが、近年、多様な個性を持った子ども達がいるので、そういった子ども達の支援、教育を行政が行っていかねばならないと考えています。将来的に少なくとも1園は残していければと思います。</p>
8	<p>時間外保育の拠点のイメージを見させていただいて、すごいいいことだと思うが、他の保育所に預けて、お迎えが遅い方については、駅の近い保育所に移動させるというイメージでいいのか。</p>	<p>駅前ステーションについては、待機児童に対して、施設の容量はあるが保育士が足りないので待機児童対策が対応できていない状況です。保育士の方も20時まで勤務するのは難しいという方が多いです。そうした中、それぞれの園で20時まで対応すると各園に保育士が必要となります。しかし、駅前拠点となると、各園の子どもを一カ所で預かるということになるので、保育士の数も少なくて済みます。結果的に、父母にとっても帰宅の途中でお子さんを預かることになるので、どちらにとってもメリットになるのではないかと考えます。</p>
9	<p>岡部保育所をどのようにするのかという考えであるが、砂地域には岡部保育所しかなくて、当初は廃止すると聞いていたので、それはいかがなものかと思ったが、今回の案で20年間残すというのは少し無理があるのかと思う。それに加え、岡部保育所の予算も潤沢ではないので、20年間このまま行くのではなくて、どこかの時点であおぞら子ども園と共同化するのがいいのかなと考えるがいかか。</p>	<p>岡部保育所を20年間維持していくというのは、あくまでこのままの人口推移でいった場合であります。今時点において、想定より人口が減ってきているので、このまま行くと20年間維持するのは難しいと考えます。</p>
10	<p>岡部保育所はなくなるのか。</p>	<p>子ども全体の数が減らなかつたらなくなりますが、子どもの数が減って民間園の定員割れが起こるような状況になれば、なくす予定です。このままの人口推移で行くと、20年後ぐらいに保育所年齢の子どもが100人分、ちょうど岡部保育所分が減るので閉園にするということになります。</p>
11	<p>24ページの図書館の配置と47ページ子育て関係施設は同じ建物なのか。</p>	<p>現時点では、一体化した建物です。</p>

12	すてっぷなわては存続するのか。	はい。比較的新しい施設なので存続します。47ページの子育て関係施設とは、具体的には保育ステーションのようなもので、機能としては、すてっぷなわてとは異なっています。
13	すてっぷなわてをくすのき小学校などと統合して、すてっぷなわてを貸館とする考えはあるのか。	貸館の数は、利用者数が減少していることから、増加する予定はありません。そこで、公共施設予約システムなどの利用者数の増えるような仕組みを整えて参ります。すてっぷなわてについては、そこに通う子どもたちの負担にならないためにも、どこかと統合するという計画はありません。
14	イメージイラストを見るとすごく素敵だと思う。東大阪にも屋内で遊べる施設があって、保護者も雨の日でも遊べる場所があって喜んでいる。そういった施設が四條畷にもあれば市の魅力にもあると思うが、それについてどう思うか。	<p>屋内の遊び場はたくさんの意見を頂きます。設置をしたいという思いはあります。現在のこの計画は、人口が徐々に減っていく将来であっても、年間7億円であれば維持して行けると考えています。ただ、人口が上向きになった時には、用地を確保して(例えば、教文の後地をPPPで屋内遊び場にする)いきたいと思います。</p> <p>しかし、現状は優先的に保育施設等の整備が大切なので、今後の発展次第では視野に入りたいと思います。</p>
15	忍ヶ丘駅前の図書館は保育施設と一緒にしているのか。また、四条畷駅の場所はどのあたりになるのか。完成予定はいつ頃か。	<p>忍ヶ丘駅前は、タイムズ駐車場(市有地)や空き店舗を活用して保育施設と一緒に考えている。四条畷駅前は、タイムズ駐車場(市有地)を考えている。</p> <p>国の補助の有利な時期などがあるが、2029年時点においては、どちらも完成している予定です。</p>
16	屋内で子どもが遊べる施設は作らないのか。	<p>次世代に負担を先送りしないという考えがあり、年間12億円かけ続ければ全ての施設を維持できます。ただ、年間7億円ぐらいに収めれば建物以外のソフトサービスも提供できるのではないかと考えます。しかしながら、屋内サービス施設も建てていきたいとなれば、人口推計で人口が下がってきている現状であり、人口や産業が回復すれば余裕ができるので、子育て支援施設を充実していきたいと考えています。今、この時点で計画に盛り込むと超過するため、どこかの施設を諦めるという話になります。今の計画は、シュミレーション上財政を厳しく見積もっており、上ぶれた場合は良くしていけばいいですが、今は、一番厳しい部分で作らせていただいているという所はお伝えしたいです。財政状況が良くなっていけば、プールを残していくのか、屋内運動施設を作っていくのか、高齢施設が必要になってくるのかという議論になってきます。今回、再編案を1つに絞りますが、この再編案が40年後もずっとそのままいくわけでもなく、5年10年で社会情勢を見ながら見直しをかけていきます。</p>

17	駅前タイムズ①、2029年には子育て施設になるが、タイムズ②は貸し付けたまま、駐車場として残ると理解してよいか。	四條畷駅前のタイムズについては、同時に二つの駐車場がなくなると、そこを利用している近隣の方や、商店街の方が困ると思うので、現時点では、交番裏のタイムズについては駐車場として維持する予定です。
18	四條畷駅前に時間外保育施設を作るというが、大東市としっかり話をしているのか。	四條畷駅前の市有地についてですが、四條畷駅は大東市の市域ですが、その西側にあるタイムズ駐車場については、四條畷市の市有地でございますので、無理に大東市から用地を買収するといった必要はございません。
19	PPP と書いているが保育ステーションの運営も民間企業ということか。	民間と連携しながら運営したいと考えていますが、実際の運営方法については、今後、しっかりと検討していきたいと思います。
20	時間外保育ステーションは、時間外以外は別の利用用途があるのか。	例えば、一時預かり等を行って、昼間の一時的に子どもを預けたいという保護者たちのサポート施設として運用するのも一つの案だと思います。
21	駅前ステーションの考えについては、すごくいい考えと思うが、例えば20時まで見てもらえる場合、0歳児や1歳児などの移動や、いろいろな箇所の園児が集まるので、先生との交わりもある。0歳児から5歳児までの子どもが1カ所に集まると考えるが、そのあたりはうまくいくと考えるのか。	運用面については、これからクリアにしないといけないものと考えます。現時点でも各園での延長保育については、午後7時以降になると他年齢の子どもたちが1カ所に集まるということが行われている状況です。それが、バスを伴って移動するとなると、最初は色々課題があると思われませんが、他市でも行われているので、その点は参考にしながら進めていきたいと考えています。
22	時間外保育について、利用料はどのようになるのか。現状の保育料以外に費用が発生するのか。	他市の事例等を見ていると、バス等を利用する方については、少し負担が多くなるかなと考えています。保育料については、無償化の方向に進んでいますが、利用される方と利用されない方の受益者負担の考えから、利用される方からは費用負担をしていただこうと考えています。時間外保育に関しては、現状においても利用料を別途負担していただいています。
23	時間外保育が駅前に出来ると言うことであるが、今は各園の先生が見ているが、時間外だけ異なる先生が見るといのは不安である。	保育士が異なるということも問題であると思いますが、そもそも時間外の保育士を雇用することが困難になるということを懸念しています。5、10年後になると保育士不足が顕著となります。今は各園に時間外保育を行っており、その時間帯まで働いている保育士がいる状況です。しかし、今後、これだけ保育士が足りていない状況で、各園に保育士を雇っていただけるのかというと困難な状況と考えます。そのことを考えると、1カ所に集約してしっかりと資格を持った保育士を雇用して運営するのが必要と考えます。ただし、不安点も理解できるのでその点については、他市の状況を踏まえながら考えていきたいと思っています。

24	<p>あおぞら子ども園と楠風荘の跡地については、第3案では売却するという考えか。</p>	<p>あおぞら子ども園については、総合センター跡地に移転する予定であり、移転後についてはその土地は売却する考え方です。また、楠風荘についても南中学校跡地に移転する予定であり、移転後については、売却の方向で考えています。</p>
25	<p>駅前の保育所の件であるが、ガード下を利用するなど検討する余地はないのか。</p>	<p>どこの場所を活用していくかという点についてはいろいろあると思いますが、借りる場合、賃料が発生します。その賃料を払う方がタイムズを使うよりも、より市民の方にとってプラスになるという判断であれば、そういうところを使っていく考え方もございます。</p>
26	<p>時間外保育の拠点整備はブラック企業の助長とも捉えることができるがどう思うか。</p>	<p>理想を言えば、全ての企業が 17 時頃に就労を終え、家族と過ごす時間が増えることです。それをゴールに見据えながらも、就労時間が遅くなる方がいるのも事実です。行政としても、理想を追いかけつつも、直面する課題を解決しなければならないと考えます。</p>

## 保健・福祉施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>公共施設を見直していくことは必要だと思います。その中で、子育て世代を大切にしたいと思ひますし、高齢者は歩いて行ける距離に公共施設が必要だと思ひます。そういうことを踏まえ、施設ごとにどういふ考えで提案をされているかが、わかりにくい。</p>	<p>高齢者の方が歩いて行ける施設が各所にあれば理想です。しかし、限られた予算の中でそれは難しく、基軸となる公共施設は誰もがアクセスしやすい場所になります。その代わり、公園や広場は、各所に設けていこうと思ひています。またコミュニティの繋がる場所として、小規模ではありますが、図書館機能や保育機能など駅前には設けたいと思ひています。つまり、軸となる大規模な施設は市域に1つずつ、コミュニティのつながる小規模施設は各所に設けていきたいと思ひています。</p>
2	<p>さつき園の廃止について、社会的弱者の人を支援するための施設を市が手放すのはおかしいと思ひます。</p>	<p>大事なお意見だと思ひます。行政ができない部分について、福祉団体やボランティア団体の方には頭が上がりません。そういった様々な団体の方の活動がある中で、さつき園の場所だけを市が維持していくことは不公平であると思ひます。シルバー人材センターや、社会福祉協議会については行政と綿密な関わりがあるので、場所を提供します。</p>
3	<p>社会的弱者の支援について、最低限のサポートをすることは行政の役割であると思ひます。それを差し置いて、さつき園等の施設をなくすのはどうかと思ひます。</p>	<p>福祉関連について行政の役割があることは分かっています。しかし、支援の方法として公共施設の提供しかないのか、それが適切なのかとなれば、そこには議論の余地があります。</p> <p>今まで行っていたサービスが無くなれば、困惑する方もいるので関係機関、福祉団体等と協議して丁寧に対応していきます。</p>
4	<p>楠風荘、福祉コミュニティセンター、市民総合センター及び教育文化センターが複合化されるとのことであるが、これは1棟で考えているのか。</p>	<p>楠風荘については、利用率ではなく延べ人数で集計を行っているため、何人の人が利用しているかという情報は、現状、市として持っておりません。ただ、西部地域として見たときに、非常に端に設置されていると思われまひます。市としては、JRと国道163号が交差する地点付近を中心と考えているため、この辺りに複合施設を設置することとしています。</p> <p>現状、利用率が5割を超えている施設は、市民総合体育館と市民活動センターの2つのみになっています。今回の再編では、今ある部屋数等をそのまま残すのではなく、利用率が高まる形で集約することを考えており、楠風荘については複合化する施設の一部になるという形で考えています。</p>
5	<p>楠風荘については、2019年度はあるが、2029年度には移転して無くなっている。その跡地はどのようになるのか。</p>	<p>基本的の方針は3つあり、1つは売却、2つめは貸付、3つめはPPPなどで活用を検討します。</p>

	か。	ただし、楠風荘に関しては、立地条件を考えると売却の方向になっていくのかなと考えます。
6	資料の信ぴょう性と行政の公平性について問いたい。福祉コミュニティーセンターへ、ある団体が利用したい旨の相談をした際に、出資金を募るでは。と利用を断られた。このような運営方法をしていけば、絶対に利用率は伸びない。利用率の数字が信じられない。国道 170 号以西の地域は比較的人口が多い割には施設が少ない。これは行政の公平性的にどうなのか。	<p>福祉コミュニティーセンターの利用については、他の施設と異なり一部無料で貸館提供を行っていることから、利用方法について何らかの協議が必要かと思われます。ただ、今までは規制を設けて運用してきた公共施設も、規制緩和を図り利用率の上昇に努めております。</p> <p>公平性の点については、エリアごとに充実した施設があれば理想ですが、それは難しいので、幅広い人たちがアクセスしやすい場所に主要な施設を整えていくのが適当だと考えます。それを公平性に欠けるといわれると非常に難しく思います。</p>

## 行政系施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>一大商業地の誘致も含めてグリーンホール田原を拠点に活性化を図れば、田原全体の活性化も図れるのではな いか。</p>	<p>グリーンホール田原は、それほど古くないので使えるう ちは、移転等は考えていません。また、アカカベの所在地 付近については、まず田原全体の中心地であること、また 都市計画上の理由などにより商業地を設けるなら、ここし かないという状況で、田原地区全体で考えております。</p>
2	<p>環境センターとは何をするとところか。</p>	<p>し尿の希釈放流施設です。下水管を敷くことができな い地域のし尿の処理をしています。</p>
3	<p>市庁舎の移転などが本当に必要なのか。既存の建物 をもっと活用できないのか。</p>	<p>市庁舎等ははまだ利用できる建物ですので、既存の建物 を長寿命化すると今後 30 年、40 年は低コストに抑えれま すが、その後は修繕や手入れの回数が増え、将来的にラン ニングコストが嵩みます。将来的なランニングコストを抑 える選択をしたということです。</p> <p>市民ホールは、利用率が低いわりに、維持管理コストが 非常に高い状況で、この状況は改善しなければなりません。 とはいえ歴史と文化の街、四條畷において文化の中心 として活用されてきた市民ホールを無くすということはし たくありませんので、一定の利用率を見込め維持管理コス トを抑えることができる 300 人規模のホールに再編する考 えです。</p>
4	<p>葎屋中継所はどうなるのか。</p>	<p>不燃ごみ処理資源化施設は借地料を支払っており、再 編の跡地活用や、ごみ処理施設跡地の活用を踏まえなが ら、その土地の借地料等を見直していきたいと思いま す。</p>
5	<p>清滝峠にあるごみ処理場跡地についてはどのように考 えているか。</p>	<p>ごみ処理場跡地であったため、現在、土地の調査を行 っており、平成31、32年度にかけて今後の計画を作っ ていく。</p>
6	<p>第3案において、2050年時点において現市役所本庁 舎部分について何も記載がないが、売却という方向でい いか。</p>	<p>本庁舎後については現在のところ活用する予定はあり ません。</p>
7	<p>ごみの問題について、一度ごみ関連の施設を無くすと 再建しにくいので、遊休地とするのではなく保有しておく べきだ。</p>	<p>ごみの事についてですが、清滝のごみ処理場につい ては跡地の調査を行っているところです。葎屋中継所につ いては、イオンモール四條畷の近くにあつてか、土地代が 非常に高いので、今後も保有する事について議論は必要 です。</p>



8	<p>災害に対しての配慮が為されていないのではないか。南中学校の廃校の大きな理由に活断層があったはず。それなのに、そこに重要な施設を持っていくというのはいかかなものか。保健センターは災害時において医療機関機能を果たすと危機管理課で聞いた。その保健センターと市役所が同じ建物に統合されると、緊急車両等の出入りなどから災害時にパニックになるのではないかと。災害時の機能が明確に区分されていないと思う。プールの廃止についても災害時のことを考えていないのではないかとと思う。</p>	<p>災害のお話ですが、各エリアに防災拠点を整備し機能を分散します。プールについては、消防とも協議はしています。災害時でもプールの廃止について、問題はないと頂いてますので、あるに越したことはありませんが、問題はないと考えております。</p> <p>災害時の医療機関の事ですが、各医療機関と協定を結ばせていただき災害時でも対応できるようにしています。保健センターも災害時には司令塔になりますから、救急車両等でパニックになるといったことはないと考えています。</p>
---	---	---

## 公営住宅に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	市営南野住宅については、売却して無くしてしまったのか。	市営南野住宅は、過去に発生した災害復旧住宅で、設置から60年ほど経過し、災害復旧の役割は果たしたと考えられるので、住民の方と話をしながら進めていきたい。ただし、公営住宅は南野住宅ではなく、セーフティネットとなる住宅は確保しつつ、南野住宅は売却及びPPPなどで進めていきたい。

## 公園施設に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	総合公園への行き方を市民は分かっているのか。	車がないとアクセスできず、信貴生駒スカイラインを通過してアクセスします。有料道路を通ることから、駐車料金がやや高めとなっています。多額の整備費用を投資しましたが、多目的広場の利用率が低いため、民間企業にマーケットサウンディングしているところです。今後の方針については、税金の投資はやめて民間企業の活力を借りて赤字を出さないようにしていこうという方針です。
2	総合公園は利用しづらい場所にあり、特定の人しか利用できないので、もっと様々な人に活用できるような場所にあって欲しい。	総合公園は、もともと電通大グラウンドの用地であったが、電通大が手放した際、森林に戻す費用より、買収する費用を抑えることができたため、購入し活用を図った次第です。
3	総合公園があると思うが、今年で完成するのか。	今から三、四年前ぐらいから開発を始めた施設で国の補助金等もいただきながら、開発を進めてきて、現在、人工芝のグラウンドと多目的グラウンドがあります。グラウンドの方は一定使われているが、多目的グラウンドの方の利用率が上がっていません。現在、年間2000万円弱ぐらいの税負担を持って運営しているような公園であり、この公園を完成させようとする、億単位で費用がかさんでくるため、これ以上の整備は難しいと判断しました。PPPとありますが、民間企業にいろいろヒアリングさせていただいて、皆さんの資金力でもってこの公園を開発してもらえませんかというような、活動をしています。
4	施設を統合していくということであるが、今ある公園はどのようなになるのか。	今ある公園については残していきます。しかし、策があるわけではなく、面積が大きいわけでもない、近隣の方などから苦情が多く寄せられている現状もありますが、このような既存の公園も残しつつ、大きな公園については別途整備していく考えです。
5	既存の公園については、整備されていないと考える。既存の公園も整備できないのに大きな公園を作るのか。	施設全体の再編となるので、今ある小さい公園の管理というより、大きな施設が移転することに伴って空く土地を活用するという感じになります。小さい公園については、建設課が直接的な形で管理していますが、大きい公園については民間業者に委託をして管理することを考えています。
6	安全に遊べる公園づくりの「安全」とは、具体的にどうゆうことか。	広々とした公園整備を行うことで、子ども達がボール遊びをしても、窮屈に感じず、他に公園を利用する人たちと交錯しないようなことです。
7	大きい公園の整備の維持管理に伴い、市職員の増員	管理を職員で行うという形は、想定していません。どち

	<p>はないのか。住民は何かがあれば市役所に連絡すると思う。そのあたりで連携等がうまくいかないのではないのか。また、維持管理に伴う費用について、視野に入れているのか。</p>	<p>らかというと、民間企業の専門とされている事業者での委託を想定しています。仕様書において、この部分は管理を行うけどそれ以外については行わないという形になると思います。</p> <p>全ての施設を残していこうと考えると年間12億円かかると想定していますが、直近10年は7億円しかかけていないので5億円の差額が出てきます。この5億円部分を建物に使っていくと、ソフト面のサービスを充実させることができませぬ。今後、ソフト面のサービスの需要が増えているので、これを12億円に引き上げていくのは難しく、維持管理コストを7億円にしっかりと抑えていこうという考えであり、この費用であれば、20、30年後も維持できると考えから、この案に絞りました。</p>
8	<p>トイレが設置されている公園があるが、非常に汚く使いづらい。飯盛霊園のトイレはきれいで使いやすい。同じように維持をしてもらえないか。</p>	<p>飯盛霊園は、四條畷、大東、門真、守口の4市で運営している霊園です。トイレの清掃について民間業者に委託をしていることから、いつもきれいに維持されているのだと思います。各公園にあるトイレについては、各自治会に清掃を依頼しております。それを行政が行うことは可能ではありますが、税金をそこに使うこととなります。様々なことを自治会にお願いしていることも十分に理解した上で、必要になれば行政が行うことも検討したいと思います。</p>
9	<p>現状ある公園に対して再整備を検討しているか。</p>	<p>平成30年度から公園の在り方を見直しています。今、市内の公園は、一律でボール遊び禁止としていますが、本当にそれでいいのか。この地域にはベンチが必要であったり、遊具の充実が必要であったりするなど、その地域ごとによって公園に求める必要なものが変わってくると思います。行政が考えると、画一的になってしまうので、平成31年度からモデル公園を設定して、どのような遊具が必要なのか、どのような管理運営主体がいいのか、住民の皆さんとワークショップをしながら在り方を定めていきたいと考えています。それを既存公園に広げて、新たな遊具なども検討していきたいと思います。ただし、今ある公園のフェンスの老朽化などは改修も必要と考えます。</p>
10	<p>戎公園の木を伐採等してもらい、非常に美観的にもよく</p>	<p>戎公園については、田原活性化協議会の中で草木が</p>

<p>なった。一方で、国道163号から田原台に入る場所にジャングルのように生い茂った場所があるが、そこはきれいにできないか</p>	<p>伸びて、暗くて安心して子どもを遊ばすことができないという意見があり、整備したところ、美観がよくなったというお声も頂いております。戎公園については、市の保有地なので行政で伐採等ができました。しかし、個人の敷地においては行政の権限が及びません。木々等が、市道に覆いかぶさるようにはみ出た場合について指導はできます。</p> <p>正確な場所を聞かせて頂いてどのように対応するか検討させていただければと思います。</p>
---	--

## インフラ資産に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>非常時の用水の問題。計画の中の、市の用地に地下用水を引くべき。あとは貯めておく。</p> <p>地震について、どこで地震があるかわからないので、防災拠点を分散させるべき。地震の有識者についてもちゃんと選考すべき。</p>	<p>有識者については、一人ではなく様々な観点から多数の人に聞くようにしています。</p> <p>防災拠点の配置について、大阪府や消防機関と協議をしながら、災害に対応できる場所にしております。</p>
2	<p>土砂災害警戒区域について、砂防堰堤を築けば土砂災害警戒区域を除去できる。だから、砂防堰堤を整備していくべき。</p>	<p>大規模災害等を防除するための施設は、市町村レベルで整備できるものではありません。国や府に随時要望していく必要性は分かっております。現時点で、旧南中学校の一部及び東小学校の周辺が土砂災害警戒区域である事に代わりはありません。土砂災害警戒区域を市民にしっかり伝えるということは行政の責務です。</p>
3	<p>田原下水処理場について、あと1年で運転を終了すると聞いたが本当か。万が一、運転を終了した場合にその施設は市の所有施設のままか。</p>	<p>下水処理場については、田原地区の下水を田原処理場で下水処理を行ってきましたが、田原地区の下水について、国道 163 号の下に下水道管を通して、西部地域で一括処理をするという計画があります。ただし、まだ数年かかります。また、完全に廃止してしまうと、豪雨などが降った際に下水管があふれる可能性があるため、一時的に貯留してコントロールする施設が必要です。施設以外の土地についてはという話になりますが、この土地についても下水処理施設を建設するという理由で、国の補助をいただいているので、簡単には手放せないという現状です。</p>
4	<p>小さい子どもを連れて公園に行くが、夕方には小・中学生が占領し遊ぶ遊具がない。小さな子どもでも遊べる遊具を少しでも整備してもらえれば、子育て世代もすごく助かる。</p>	<p>お子様が使う遊具は安全性の高いものを選ぶため、非常に高価なものが多いです。これについては、必要に応じて整備していかなければならないと思っています。</p> <p>今後の公園整備については、小さなお子様を含む多世代の人が共生できる公園を整備していきたいと考えています。実際に、小学校高学年・中学生が公園を占領するから追い出して欲しいとのお声もあります。しかし、これは行政が口出しする案件ではないと考えます。子ども達は、そういった環境のもと社会性を身に付けていくため、必要なことだとも思います。時間制限などのルールを設けると利便性も欠けてしまうという観点からもご理解いただければと思います。</p>

5	<p>開発公園というものがあるが、使い物にならないと考える。なんとかならないか。</p>	<p>市域に 59 の開発公園があります。住宅等の建設の時に、要件として公園を整備しないとイケません。この開発公園を拵げていこうとなると、周りの用地を買収しないとイケないので、現状を変えることは難しいと考えます。</p>
6	<p>現状は市域には大きな公園というのが一つも無いが今考えてみると四條畷がいい町だと思っただくには大きな公園が必要である。南中学校跡地に複合施設と公園を設置する予定であるが、今、閉鎖されグラウンドが開いている状況であるならば、複合施設が出来る前に校庭開放だけでもしてはどうか。</p>	<p>各エリアに大きな公園を設置する予定であり、国道163号以北の西部地域ゾーンには敷地がないので学校の校庭開放を視野に入れさせていただいて、地域に偏りが無いようにしようと考えています。南中学校跡地について早く進めたいのではないのかというお話であるが、現在、この計画の意見交換をさせていただいていますが、計画が出来れば最初に着手するのが南中学校跡地のエリアであると考えています。</p>
7	<p>旧国道170号の道が狭い。道路拡幅の計画はあるか。</p>	<p>大阪府の管理道路のため、事業主体は大阪府。平成30年度に測量の予算が付き、道路拡幅、歩道整備の計画が動きだしました。</p>
8	<p>田原地区の人たちが、生駒市へ買い物に出かけている。交通アクセスを整備して、もう少し田原地区と西部地区の行き来がしやすいようにできないか。公共施設の再編に合わせて、踏切を無くす等の交通面の整備も進めて欲しい。</p>	<p>昨年から、四條畷市、大東市、JRと三者で四條畷駅の高架化に向けた勉強会を始め、動き始めたところです。田原地域の方から要望の多い、四條畷駅と田原地区の直行便を主軸に、田原台を周遊するバスを平成31年から実証実験を開始、2020年の稼働に向けて公共施設再編と並行して行っています。</p>
9	<p>施設の整備よりも、道路整備を優先すべきだ。住みよいまち、まちの発展をしようとするなら道路整備が何より大切だ。</p>	<p>道路が非常に重要であるというのは、おっしゃる通りです。今回は公共施設の再編というテーマに絞ってお話をしました。これに道路の話も加えてとなると情報量が多すぎて理解することが難しくなります。平成 31 年度に公共施設の再編計画が整えば、並行して道路整備計画も見直します。まずは公共施設の配置を決めてから、必要な道路の整備を行います。</p>
10	<p>公共施設の配置よりも、まずは何より道路だ。学校の跡地等の広大な公共地が空くのだから道路を先に整備して欲しい。</p>	<p>貴重なご意見として参考にさせていただきます。</p>
11	<p>道路整備について、市の自主財源はどれくらいあるの</p>	<p>四條畷市の都市計画道路は、雁屋畑線の1本しかあり</p>

	<p>か。道路の拡幅について、土地を購入して拡幅するとあった話は現在どうなっているか。</p>	<p>ません。雁屋畑線を延長していこうと思うと、旧 170 号線の拡幅は必要不可欠であり、この道路については大阪府の予算で行っています。ただ、道路に関して国から受ける補助金が近年は多くなってきています。道路整備費用の半分に、この国費を使いまう半分に市の予算を用いて、まずは通学路の整備を優先的に行なっています。公共施設の計画が定まり、予算の執行計画が立てば、道路に充てる予算を見直すことができます。今後、優先順位を付けながら道路整備を行っていきます。</p> <p>道路拡幅についてですが、主要な道路や、市民の方から拡幅の要望が多かった道路などについて順次整備を進めていく計画を、本年度策定する計画に盛り込んでいきたいと考えています。</p>
12	<p>本市は、非常に狭い道が多いが、道路を整備しないと新しい住民も入ってこないと思うがどのように考えているか。</p>	<p>資料の最初の方に記載させていただいているまちづくりの全体像というものがありますが、今から3年前くらいに、総合計画を策定するためのアンケートを実施しました。そのアンケートの中で、最も重要で最も不満足な点が道路政策でした。それは、本市が歴史ある街だからこそ起きたことなのかなと思います。我々としても課題として考えています。そのために道路整備の在り方というものを見直しており、公共施設の方針のめどが立ち次第、道路の計画も合わせて考えていきます。</p>
13	<p>四条畷駅について、利便性を向上させるため駅舎の高架部分を拡大してはどうか。</p>	<p>駅の改造となるとJRが費用を負担する話になってくるが、JRからすると経営効率化を進めており、乗降客が多い駅に投資をしていっている状況です。今後は、本市、大東市、JRと協議を進めて利便性の向上につながるようにしていきたいと考えています。</p>
14	<p>雁屋畑線についてはいつ頃に全線開通する予定なのか。</p>	<p>旧外環状線までを計画していますが、現在、その道路幅が狭いという問題があり、先にそちらを解決してからの話となります。</p>
15	<p>雁屋畑線については、楠公1丁目が、一番住宅が建っている。道が細く行き来が困難である。完成についてはいつ頃になるのか。</p>	<p>都市整備を考えると、旧外環状線が先に完成しないと着工出来ないと考えます。我々としては、まずは旧国道 170 号の拡幅を頑張らせていただきたいと思います。</p>
16	<p>田原台の中に緑地エリアがいくつかあると思う。美観上きれいにしているところもあれば、していないところもある。その用地については、どのように考えているか。</p>	<p>緑地環境に関する計画という、長い期間改訂されていない計画があり、今後この計画を今年から来年にかけて見直していこうと考えています。その計画の中で、緑地等</p>



		<p>の市全体の緑について定義させていただければと考えています。現状は、従来の緑地環境に関する計画に基づきながら、必要に応じて剪定等を行ってまいります。</p>
17	<p>四條畷市全域を見た時に、子ども達がボール遊びをできる公園がない。</p>	<p>各エリアに子ども達が広々と遊べる公園を整備していきます。ただし、砂地区の周辺については公園を整備できる土地がないことから、岡部小学校の校庭開放も視野に入れていきます。</p>
18	<p>既存の都市計画事業との整合について、下水道の管理や、道路の管理、用地交渉など放っておけないと思うが、どのように考えているか。</p>	<p>道路や下水道や公共施設の建物だとか、全てを同じ計画内に入れてしまうと、複雑で理解できなくなってしまう。平成31年度に道路施設維持管理計画を改訂していく中で道路については考えていきます。決して、道路や、下水道などについて考えていないわけではありません。</p>

## 学校跡地に関する質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>3案の市民総合センターを南中学校跡地へ移転することは、利便性から考えて本当に正しいのか。南中学校の跡地は、防災拠点としての役割とともに生涯学習センター機能を全面に打ち出すべきである。ワークショップでは市民総合センターを南中学校跡地に移転するような意見は出ていなかった。</p>	<p>この件については、地域の方から要望をいただいていた案件です。本市が広い土地を所有していないこともあり、現地建替の場合、一旦、その機能を停止して建替えなければならないので、現実的には難しいです。国道163号とJRが交差する点を市の中心と考えおり、まちづくりの観点から、中心あたりに施設を配置していく必要があると考えます。</p>
2	<p>公共施設マネジメントの基本方針の一つにもあるように、災害に強いまちというものがあるが、避難場所に関してはどのようになっていくのか。これを進めていく間に、震度5弱で災害対策本部が設置されるということであるが、その時に市民はどのような対応をしながら避難場所を確保しながらこの計画を進めていくのか。</p>	<p>避難所は、小学校区毎に設置しているが、南中学校と東小学校の体育館が土砂災害警戒区域のため、大雨時には避難所として使えません。よって、南中学校の敷地の西側に寄せて建物を立てる計画です。そこは土砂災害警戒区域外のため、そこに防災拠点を整え、全ての校区で避難所があるように配置できます。最初に進めていくのは、非耐震施設、次に、あおぞら子ども園や、市庁舎となるので、エリアごとで避難所がなくなるということはありません。</p>
3	<p>地震列島である日本において、公共建築物を考えるとときに集約化する事は危険だと思う。 南中学校が廃校になった理由に断層の上ということがあるが、そんな場所に公園を作る、近くに公共施設を作ることが理解できない。</p>	<p>地震がいつ起きるかは分かりません。そんな中、南中学校周辺エリアには避難場所がないという状況を市としては、一刻も早く打破したいと考えています。地震大国であるからこそ、この計画の内容になっていると理解して欲しいです。</p>
4	<p>活断層近くには学校は建てないという教育委員会の方針であったと思う。しかしながら、子ども達が遊ぶ公園が同じ場所に整備されていることについては、そこに来るとの自己責任であると考えか。</p>	<p>活断層から一定の距離を離し、耐震性能を持たせれば問題ないと専門家からも意見をいただいております。まずは断層から離れた箇所、土砂災害警戒区域から離れた場所に避難できる防災拠点をしっかりと整備したいと考えています。それ以外の学校跡地の箇所については、建物は建てず、子ども達が広々と遊べ、有事の際には近くの防災施設に逃げ込めるようにしたいと考えています。</p>
5	<p>第3案を見ながら、ほとんどの施設は改築、リノベーションであると思うが、市庁舎と保健センターが建て替えを含むものであり、他はリノベーションであると言うことなのか。</p>	<p>南中学校の跡地については、東側半分が土砂災害警戒区域になっているので、西側半分を活用して、体育館であったり、集約施設を建設する予定なので、これらについて新しく建てるということです。また、今お示しいただいた市庁舎、保健センターについても新たに建設するものである。その他については、今ある施設を長持ちさせて利用していこうという考えである。</p>
6	<p>旧南中学校は耐震工事をして、国費の補助を得ていたが、制約はないのか。無いとしても費用の無駄遣いになると思うが。</p>	<p>一切、ございません。南中学校の既存校舎が土砂災害警戒エリアに位置しており、その既存校舎を維持することと比較すれば、既存校舎を取壊し再整備しても費用は大きく変わりません。</p>

7	旧南中学校跡地の整備後の施設について、高齢者が通えるようにコミュニティバスの運行はあるのか。あと公園に整備することで近隣の住民も喜ぶのではないか。	公園整備については各所で整備していきますので、高齢者の方でも気軽に立ち寄って頂けるようになると思います。
---	---	--

## その他の質疑応答

No	参加者のご意見・ご質問	市長の回答
1	<p>田原交番の場所について、さらに田原地域の安全を促進できるように、田原中央線上に移転できないか。</p>	<p>交番は、大阪府警が所管しているので市の一存で場所を決めることが出来ません。また、交番や消防署も公共施設と同じように建替え時期があります。その時期に市や地域の方と意見交換をしながら、用地を決めていくと思います。</p>
2	<p>四條畷の西部地域には6つのコミュニティがある。これを理解して欲しい。市全体の施設である事はわかりつつも、コミュニティ毎に施設がないというのは不公平でないかと思う。</p>	<p>その上で補足します。各地域には公民館があります。そういった公民館を活用して、地域のコミュニティ形成も可能だと思います。</p>
3	<p>東部ゾーンに東部商業拠点という言葉が出てくるが、これはどのようなものか。URの寄付の土地があると言うがそれはどこになるのか。</p>	<p>東部商業拠点を説明する前に、まちづくりをしていく時、都市計画というものが立てられて、それぞれエリア別に、こういうものは建てられて、こういうものは建てられないというものに決まります。この田原台は基本的に住宅地なので、住宅しか建てられません。例えば都市計画をやっていって家と家の間に工場などが出来てしまうと、まちづくりの観点からは良くないので、商業地域なら商業が立地できる地域、工業地域なら工業が立地できる地域、住宅地なら住宅が立地できる地域などをあらかじめ決めておいて、その用途に合わない建物については建てられないというのがまちづくりを行っていく上での考え方です。田原台については、ほとんどが住宅地になっていて、商業地域というのは2カ所しかありません。その地域のことを東部商業拠点と言っています。またURから寄付された土地については、ミニストップの交差点があるところの山側がUR寄付土地です。図面で見るとすごく立派な土地に見えますが、簡単に言うと崖、斜面であり、ここに何かを建てようとすると、平らに削るという作業が発生するので、土地の価値としては低いので寄付いただいた状況です。市としても活用するのは難しい状況ですが、学術研究都市と言うことで、研究施設には使えるのでそのような需要があれば売却することなどを考えています。</p>

4	<p>国道163号に計画されている清瀧生駒道路というものがあるが、つながると今よりも交通量が増えると思う。しかし、路肩に大型のトレーラーが駐停車しているのが度々見られる。市で保有している土地で、道の駅を設置するなどの考えはないか。</p>	<p>市が持っている土地で、国道沿いで道の駅になるような土地というのは、なかなか難しい状況です。もし道の駅を整備するぐらいの土地を購入するとすると、4、5億円という話になってくるので、一定の判断が必要なのかなと感じます。ただ、20年前くらいに四條畷に道の駅を作ろうという計画がありましたが、それは国土交通省の事業で国のお金が入っているので、市のお金をなるべく使わずに国の予算で運営しようというものでした。しかし、それには交通量であったりいろいろな要件があって、四條畷市は国の要件に該当しないので、市の予算で建てなければならぬことになったとのことで断念した経過があります。ただ、今後の開通には、四條畷部分はほとんど終わっていますが、生駒市側の用地買収が終わってなくて、出来れば途中まで一部開通したらいいのではないかという考えもありますが、太い道までつながないと、開通できないというところがあり、まだ時間がかかると思われます。</p>
5	<p>UR寄付土地はどんな場所か。</p>	<p>田原台6丁目住宅地の西側の斜面地です。草木が生い茂り地盤も固いため、現状では活用する方法が無いといったところです。ですので、売却の方向で検討しております。</p>
6	<p>再編素案の複数案のうち、第3案で行くという市の意向でよろしいか。</p>	<p>はい。施設をこのまま維持しようと思えば、年間約12億円使えば出来ます。しかし、借金をすれば負担は次世代に残されていき、それを返済するために、他の市民サービスの低下へと繋がります。第3案であれば年間約7億円で抑えられ、なんとか次世代に負担を先送りにせずに済む点から、第3案でいこうという考えです。</p>
7	<p>基本としては、第3案でいくという考えなのか。</p>	<p>三つの大きな基本方針のうちの一つが、将来に負担を先送りしないということです。今ある施設を全部残そうとすると年間12億円かかります。第3案でいくと、年間7億円で抑えることができます。過去10年、建物に使ってきたお金というのが大体毎年7億であり、過去10年7億円ずつずっと投資することを継続できるのであれば、この第3案でぎりぎりになります。それ以上の第1案、第2案になると、結局は借金して建てていくので建てられなくはないですが、借金が次世代に残っていくという考え方になるので、今ご意見いただいたように、基本的には行政としては第3案をベースにと考えております。</p>

8	<p>忍ヶ丘駅前のお話であるが、いつ頃のお話であるのか。</p>	<p>先ほど少し説明させていただいたPPPという考え方なんです。これは行政だけで全部自前で用意しないという考えですが、ここで一緒にやったださる民間企業等をまず見つけるという作業があるので、行政だけの意思で何年からやっていくっていうのは難しいと思います。我々として短期なので5年以内ぐらいにはできたらいいと考えています。</p>
9	<p>駅前図書館と時間外保育施設については賛同です。長寿命化について、長寿命化したところで40年後には改修時期を迎える施設が半数以上あり、40年間のうち長寿命化と改修の2回を行わなければならない、後の40年にはなにも残らない。そこで60年サイクルを取れば改築を1回し、改築か長寿命化をあとの40年に行う。要するに平準化する。それでおおよそ12%の削減。さらに将来、子ども達が減少した時に施設を減築することを踏まえるとおおよそ25%から30%くらいになる。</p> <p>その上で、公共施設の集約化が可能かどうか考える。これは市の計画と全く違った考え。地域のコミュニティ施設を学校などと集約化する。今の市の計画は前市長の考えと何ら変わりがない。</p>	<p>建築物にはサイクルというものがあるので、長寿命化したらその後に負担が来ます。これは一定仕方のない事です。これには、本来であれば人口等にあわせて年々整備していく公共施設ですが、一斉に人口が増え、施設を急増整備したという時期が背景にあります。全ての施設を長寿命化すると、改築時期に一斉に負担が来ます。これを長寿命化する施設と改築する施設とを見極めることで、将来の負担を均していくことができます。</p> <p>学校施設と地域のコミュニティ施設を複合化するというお話を頂きましたが、これには市にも考えはございます。ただし、近年、不審者が学校に侵入し、子ども達が被害にあったという事例もありますので、慎重にことを運ばなければなりません。また集約をしていくという部分に関して、市内に5つの旧耐震基準で建設をされている施設があり、その施設に入っている機能は早急に安全な施設に移していきたいと考えています。</p>
10	<p>経費削減のために施設を集約するのか。</p>	<p>経費削減のために、施設の維持管理に多大な費用を割くのではなく、子育て支援の施策など、他の施策(ソフト面)に充てられるように、公共施設について見直しが必要とすることです。</p>
11	<p>29ページの財産の将来更新費用について、もう少し詳しく教えていただきたい。282億円というのは何なのか。そのお金はどこから出するのか。市単費なのか。また、市だけでまかなえる額なのか。</p>	<p>38ページ以降に示している改修、移転等を行った際に累積でかかっていく投資的経費の累積になります。メンテナンス費用は入っていません。また費用については、学校等を統廃合するときには、国から補助金が交付されますが、一般的な公共施設になると、ほとんど補助金は期待できず、市が借金をすることになります。ただし、第3案であれば282億円のうちの40億円程度を補助金として受けられると考えています。</p>
12	<p>国からの補助が少なかった場合は、さらに縮小していくとのことであるが、この計画の中では事業の優先順位を想定しているのか。</p>	<p>優先順位というよりかは、整備していく速度の順になると考えます。後から行おうとするものが少しずつずれていくということは考えられます。</p>

13	<p>計画において、第3案を一番押している案と思われるが、第1案及び第2案とどのように違うのか。</p>	<p>簡潔に説明することは難しいが、南中の跡地への集約が違うのかと考えます。第1案で言うところの総合センター機能が移転していない、岡部保育所を残している、市民プールを作っているなど大きな違いがあり、その分の全体の更新費用も大きくなります。ただ、方針として掲げているものに、基本的には建物の維持更新をするときは借金をして、例えば20年間などで、分割払いの借金をする。5、10年で実施しようと考えたらものすごい借金をすれば出来なくはないですが、その後に借金が残り利息も付いてくるのを避けたいというのが第3案の考え方です。年7億円ぐらいであれば先送りせずに行政運営をしていけるとの試算の元、我々としては次世代に負担を先送りしないという観点から第3案を中心に考えているものです。</p>
14	<p>公共施設が立て直されて、きれいになるのは利用者としてすごくいいと思う。それに加えて、ごみを減量できるような施設の設置も考えてもらえないか。</p>	<p>本計画は、市全体の公共施設の再編を図り、負担を将来に先送りしないようにということを念頭に行っております。そういった観点から、新たに施設を設置するための計画ではなく、使える施設は活用していき、老朽化などで再整備の必要のある施設については新しくするといった考えです。目的ごとに施設を作るのではなく、利用の緩和や、施設の利用方法の見直し等で様々な用途に活用できる施設管理ができればと考えています。</p>
15	<p>費用を40%縮減する根拠はなにか。</p>	<p>施設ごとに、今後の維持更新費用を計算しております。それを累積した数字を資料に記載しております。今ある施設を全て維持しようとしていくと、年間約12億円という費用が必要です。ただし、市が現状の税収等から維持更新費用として捻出できる費用は年間約7億円までしか厳しいという点から40%縮減するという考えです。</p>
16	<p>地域の安心・安全の点から交番の場所を移転せよという声を聞くが、様々な理由から難しいと思う。ならば民間の防犯拠点等は整備されないのか。</p>	<p>自治会等の防犯活動には、本当に感謝しております。田原の中央道に交番の設置をという意見を、他の意見交換会でも頂きました。これについては、大阪府が交番の設置場所等について動き出した時には、地域住民の方から意見が出ての旨の主張はしていきます。田原ライフセイバーズの活動拠点の整備については、市が保有している土地等もないので現状のところ考えておりません。しかし、今後、公民連携等において公共用スペースが出てきた際には、どのように活用するかという話になると思います。</p>

17	<p>公共施設総合管理計画を見ると、将来の更新費が60年サイクルで実施した場合が585億円と書いていた。劣化度診断での60年サイクルで実施した場合が510億円と書いていた。その結果、長寿命化をした場合は約480億円という話で削減率は6%しかないという形になっているのではないかと。元々の総合管理計画の場合は、1.2倍に施設の寿命は延びると言うことで換算すると16.7%削減できるということであるがこの違いはどこから来ているのか。</p>	<p>公共施設総合管理計画は、全ての施設を対象としていましたが、今回の公共施設個別管理計画については、劣化診断を行い精査させていただいた中、調査をするだけで1億円弱ぐらい費用がかかりました。ただし、明らかに痛みが激しい施設については調査から省いています。よって、調査している施設数が異なっているので費用総額に差異が生じていると理解していただければと思います。</p>
18	<p>削減の中で、第3案であれば年間約7.2億円に更新費を当てると言うことである。その根拠としては、最近10年間の公共施設に係る投資的経費の平均値であるとして書いてある。最近10年間の起債であるが、約5億円である。あと約2億円ぐらいが補助金かなと考える。この10年間に返済超過というのが約4.6億円ある。今の6.6%の公債費比率を維持しつつ、返済超過分も更新時期に入ってきている、かつ起債残高も増やすことなくということを考えてとき、返済超過分は当てられるのではないかと。投資的経費全体について書いてあるが、7億円というのはいかかなものか。これでいくと返済超過分は考慮されていないと言うことになるので、そこまで厳しく見なくていいのではないかと。</p>	<p>本市では平成10年ぐらいから20年ぐらいにかけて財政が厳しかった時期がありました。その時に様々な取り組みにより財政の健全化を進めてきて、平成20年以降は基金というものも積み立ててきました。7億円というのは、建物だけの話であり、我々が取り組んでいかないといけないインフラには道路や、橋、下水道など様々あります。そうした中で、道路というものには投資的経費をあまり避けてきてこれませんでした。建物だけを見るのではなく、公共施設全体として道路や、橋、下水道もある中で、建物として投資できるのは7億円ぐらいと考えています。</p>
19	<p>建て直すとなれば初期投資が必要となるのか。</p>	<p>建て直す、改修するという最初にかかる額が投資額とみていただけたらいいかなと思います。建てたり、改修したり移転したりという額が、第3案であれば今後、年7億円程度にしていく必要があるという考え方です。</p>
20	<p>各施設の駐車場のスペースはどのようにするのか、イメージ図ではかなり狭いと考えるが。</p>	<p>駐車場がないので行きづらいという意見もありますが、コミュニティバス等の見直しも検討しているので、駐車場ありきで全てを設計してしまうと、免許証返納などの方に対応できないので、公共交通との連動を考えつつも一定の台数は確保していきたいと考えています。</p>
21	<p>交番裏の駐車場は学園の行事の時、満車になる。また、災害発生時には地区の住民は、一旦その駐車場に集まり、避難場所へと移動する一時集合場所として利用しているので、ぜひ駐車場として残してもらいたい。</p>	<p>現時点では、駐車場利用として考えております。今後、計画に変更があった際には、再度、住民の方からのご意見等も聞きながら検討していければと思います。</p>
22	<p>公共施設というハード面の説明だけでなく、ソフト面の説明も聞いてみたい。</p>	<p>ハード面を持って人口増加をめざそうとは考えていません。地域との対話会等を6月頃に再度、開催したいと考えています。その時にお話しさせていただきます。</p>
23	<p>公共施設を利用しようとすると、市内在住の人が過半数</p>	<p>施設利用については、今後利用の緩和を行っていきま</p>



	いないと利用できないとするのはおかしい。市のコミュニティ施設以外のものは誰でも使えるようにすべき。	す。ただし、利用については市民優先です。
24	公共施設の稼働率をあげることはいいが、市民が使えなくなる可能性があるので、その辺も踏まえ考えて欲しい。	提言ということで、しっかりと受け止めさせていただきます。
25	四条畷駅にカタログスタンドがあり、大東市は広報誌を置いているが、四條畷市は置かないか。 また、大東市だと「子育てするなら大都市より大東市」とキャッチフレーズがありますが、四條畷市は作らないのか。	先日、キャッチフレーズが決まりました。四條畷の特色である自然の多さや気取らず優しく自然体な人が多いということから「市全体、自然体」というキャッチフレーズに決めました。 また、四条畷駅に一定の量の広報誌を設置していたと思います。確認し、設置していなければ設置したいと思います。
26	複数の素案を見せてもらったが、この複数の案はすでに公表されていますか。	秋に行った意見交換会で出た意見を聞いた上で、1月時点での案を現在、ホームページへ掲載しています。今回、説明させていただいた内容は、直前まで協議と調整を行っていたので、まだホームページには掲載ができておりません。今回の意見交換会を含めて、後日、ホームページに掲載いたします。
27	この説明会で配布された資料は、いつ説明会に来ている人たちが見れますか。	今日、明日にでもホームページへ掲載させていただきます。
28	人口が減れば、税収も減るというのは違うと思う。人口が減っても技術は進歩するので、人口が減ったから税収が減るとするのはイコールではない。こうして危機感ばかり強調するよりも、今後どういう施設が必要になるのか説明していただきたい。	税収の大半は住民税が主となっています。ですので、基本的には人口に比例して税収が変動します。平成29年度から平成30年度にかけて人口が増えたので、平成31年度はかなり税収が増えています。それを踏まえて公共施設の再編を図りながら、四條畷市の宣伝や、子育て施策の充実を行い、人口増加につながるように努めます。
29	田原の活性化は地域自体が頑張らないと成せないのではないか。ベッドタウンとなってる気がする。	ベッドタウンとなっている人もいれば、そうでない人もいます。行政と地域を切り離すのではなく、支え合って頑張りたいと思います。
30	公共施設の維持コスト7億円には、そういった整備費などは含まれていないのか。	含まれていません。
31	都市計画的な観点で一体的に考えないといけない。	おっしゃる通りです。関係各所と綿密な連携を図りながら努めていきたいと思っています。
32	東部商業拠点の空き用地に関しては、もともと何かをしようとしていたのか、なにもないのか。	開発時はもっと大規模な計画であったが、景気が落ち込み規模が縮小してしまった。しかし、今後は民間企業とも連携を図りながら発展に努めたいと考えています。
33	人口が増加したのは、どの地域か。	田原台六丁目が開発されたことが1点。二丁通地区や岡山地区の建て直しが進んだという点です。 その理由は、利便性や土地面積の割に値段が安い。またイオンが出来たことも理由に考えられます。
34	パークヒルズの住民はどれくらいいるのか。	11月時点で30～40人くらいだと思います。
35	田原台六丁目に住まれる人が更に増えると、自治会が	自治会は、地域住民が形成するもので、市が作るもの

	必要と思うが、どう考えていますか。	ではありません。地域住民の方々の機運が高まった時に自治会形成の支援をサポートできたらと思います。
36	アカカベの跡地について、参入する民間企業は既に把握しているのか。	相手方もいることなので、いま、公表するということはありません。しばらく待ってください。
37	アカカベと共同事業を展開していくことも大切。今あるものを利用しながら、さらに良くしていくことを考えてほしい。	アカカベも地域に寄り添う運営をしてくれています。アカカベとも共に歩みながら、別の形も考え、様々な事業を考えていくのは行政の仕事だと考えています。
38	平成29年から平成30年にかけて人口が微増している原因はなにか。	転入者へのアンケートによると、大阪市内へのアクセス、地価が安いこと、またイオンモールの存在もあつてか、買い物しやすいことなどが挙げられました。
39	そのアンケートはいつごろから取り始めたのか。	平成29年の10月です。マーケティング監の採用を機に開始しました。
40	夢アワード(12月16日開催)で出た複数の案を採用する考えはあるか。	夢アワードの事業については、行政サービスでなく、民間主体で行う事業ですので、行政がサポートできる部分は、サポートして、四條畷市を互いに盛り上げていこうといった状況です。
41	公共施設再編にかかる投資額の資金調達はどのように行うのか。	行政が施設を新設する場合、基本的に市債を発行し借金をします。それは、これから長く利用する公共施設を、建設当初に住む市民たちだけで税負担をするのは公平性がなくなることから、次世代の人たちにも公平に税負担をしてもらうためです。その上で、いま日本中で人口に対しての公共施設の多さが問題となっている為、公共施設の削減を行い、人口に適した施設数へと再編を行う際に、その投資費用の何割かを国が補填してくれます。ただし、補填されるといっても限界がありますので、その国費の補填を含め借金の返済をしていくには、年間7億円が無理のない妥当な額だと試算しております。
42	公共施設再編後の運営費・管理費のコストについては試算しているのか。	維持管理のフローを策定しています。維持管理の方法としては、市の職員が維持管理を行うと多額のコストがかかるため、民間企業への委託を視野に考えております。
43	公共施設の再編の順番は、決まり次第、広報があるのか。	もちろんお知らせいたします。
44	この意見交換会を開催する目的を教えてください。また、検討するという言葉を使うのはやめてほしい。	冒頭の挨拶でも述べましたが、市民の皆さまの意見を踏まえながら前進したいと考えております。 また、行政が物事を進めるとき関係機関にも影響が及ぶ可能性があります。私(市長)がこの場で即答する事は、むしろ市民の皆さまに対して不誠実であると思います。一旦持ち帰って会議にかけることを検討するという他ございませんので、ご了承をお願いします。
45	今回の説明を聞いて、少子化を前提に進めていること	人口動態についても考えいかなければならず、総合戦

	だと感じた。少子化を打破できるのかという疑問。今回の内容について、メールの問合せはしてもいいのか。	略に魅力ある街づくりを掲げています。減りつつけている人口に抗い、その甲斐もあってか平成 30 年によく減少の歯止めが立ってきたところですので、決して人口減少(少子化)を是としている訳ではありません。ただし、人口が回復する事を前提に財政運営をしてしまうと、人口が減少した時に財政が苦しくなるので、人口が減少する事も想定して計画を立てているということです。 メール等での問い合わせは問題ありません。必ずお答えします。
46	この計画が動き出すということは、市民にとってすごく大事なことだと思う。また子育て世代にとって参加しづらい日程だと思う。地区回覧1枚で済ますのではなく、しっかりと広報すべきだと思う。	2000 名にアンケートを取ったり、5 回の市民ワークショップ、計 20 回の意見交換会を行ってご意見を頂いております。また広報については、持てる手段全てを活用して広報しております。日程についても、平日の日中、夜間、休日の日中とできるだけ多くの方に参加して頂けるように日程を組んでおります。今後についても情報発信に努めます。
47	この計画ができていく現段階で、使用者の人たちと話がすでに出来ているのか。	施設ごとの各関係機関とは意見交換をしています。市民の皆さまにはアンケートを持って意見を聞かせていただきました。
48	市民ワークショップに参加したが、ゲーム感覚に感じた。あの場での意見を採用するのはやめてほしい。	市としてはゲーム感覚で行っていたという風には捉えておりません。
49	結論を急がないで欲しい。	多様なご意見があります。ワークショップでのご意見の採用についても、結論を急ぐかどうかについても、様々なご意見を参考にさせていただき進めてまいりたいと思います。8 月の策定を目標に決めてまいります。
50	この意見交換会で出た意見をどれだけ吸い上げる姿勢があるのか。平成 27 年から進めている計画というが、これは前市長の計画であり、東市長が就任された時には、まちづくり長期計画を大幅に見直すと言っていた。いま、この計画のスケジュールを見れば、4 月 14 日で意見交換会を終え、4 月中に案を固めて、5 月に発表し、8 月にパブリックコメントをした上で、策定に踏み切ると非常にタイトで不安だ。この計画に対して、大幅に変更が生じる意見については撥ね退けるといった姿勢では絶対にいけないと思う。利用者に意見を聞く姿勢も見せてほしい。	決して急ぎたいから 8 月にしたいということではありません。総合戦略も行財政改革プランも見直しさせていただきました。それと並行して関連する本計画も見直しをさせていただき、当時のまちづくり計画とは、内容がだいぶ変わってきていると考えております。その上で、今回の公共施設の再編に乗り出したところです。意見について、賛否は両論です。両者の意見を聞きながらも、歩みは止めてはいけないと思っています。丁寧な議論が必要なところは、しっかりと話し合いをして、できる限り様々な人の意見をくみ取りながら前進したいと思います。
51	この計画に対しての提言書等を役所に置いてほしい。そして、いろんな人から意見を聞いてほしい。	意見交換会を経て、多くの方の意見を得れています。アンケートなどもさせていただきました。提言書などについて、即答は出来ませんが庁内で検討させていただきます。
52	施設を整備していく資金繰りについてどう考えているのか。	費用について、資金繰りが苦しい時期がありましたが、市民の皆さまのおかげもあり財政難を脱しています。そう

		<p>いった状況から、公共施設の整備に関して、年間7億円ほどであれば、十分確保できるといった考えです。</p>
53	<p>施設投資の年間7億円という中には、施設の維持管理費、運営費等も含んでいるということではないか。</p>	<p>運営費等は含まれておりません。</p>
54	<p>公共施設の数を減らし、施設総量を縮減しと資料に書いているが、総量を縮減すれば費用を縮減できるのは当たり前の話。どこに行政の努力があるのか見えない。直近10年間に係る投資的経費の平均額が7億円で、その値をこのまま維持するということは、行政は何もしないと言っているのと同じだ。もう少し考えて欲しい。</p>	<p>行政として、人口が減っていき収入が減る中で、いかに行政サービスを低下さないようにするのかというのが分野横断的に定められた行財政改革プランがあります。これは、当たり前ではありますが、職員にとって非常に厳しい内容でございます。市民の皆さまのご協力や職員の努力もあって、なんとか財政的に建て直しをしてきた次第です。</p> <p>年間7億円の投資的経費をさらに縮減しようとすると、大半の施設を維持できず見放す形になってしまいます。利用者が多い施設もある中でそういったことはしたくないという思いから第3案を採用した次第です。ただし、将来的に人口が減少したり、なんらかの影響で財政的に厳しくなった場合は、計画の見直しも検討しています。</p>
55	<p>施設再編を実施するに当たり、人口減少なども含め話が合ったが、将来的に大東市、寝屋川市との合併は考えていないのか。人口が減ってくる中で人口の升を大きくするには合併という考え方、地政学的に言って本市は大東市と合併した場合に、人口が増えることと、利用の高い駅が四条畷駅となるが、現在、四条畷駅は大東市になるため、開発がもっと進むのではないかと。将来的に見て、そのようなことを検討されたのか。</p>	<p>公共施設再編のために合併していくという考えはありません。合併というのは、さらに上の概念と考えます。人口減少が進んでいって、市単独では成り立たない場合に検討されるというものであり、市単独で運営していけば、今のきめ細かなサービスが出来ますが、大東市と寝屋川市と合併すると40万人弱の人口規模になり、実際どこに本部機能を置くか、支所機能をどこに置くかなどと、再編の議論は異なるのではないかと考えます。府には市長会という会があり、そこでいろいろ勉強会があります。様々な施設を各市で持つのではなく複数市で一つ持つなどの方が、効率がいいなど、単独で持ち続けられないことを前提として行政の効率化を進めることや、合併みたいなことが研究会として検討されています。本市としては府の合併の研究会には入ってなく、現状としては合併の考えはありません。合併が魔法の杖かというそういうわけではなく、もともと四條畷市と大東市が合併するという機運がありましたがそれもなかなか難しかった経緯があります。近隣市で言えば守口市と門真市の合併が住民投票で合併には至らなかった例もあります。本市が抱えている子育て支援であったり、人口減少に立ち向かっていくという課題を解決して行くには、現時点では合併に向けて多大な行政コストをかけていくという考えはありません。</p>
56	<p>計画を進めることはいいが、施設を利用する若年層が増えなければ意味がない。楠公商店街も昔は大勢の人が</p>	<p>施設を建てていくことで若年層を取り入れていこうという考えではなく、公共施設は様々な世代にとって必要なも</p>

	<p>行き交っていたが、今は若年層が非常に少なくなっている。施設を作っても5、6年は維持できると考えるが、20年後になったら大丈夫かという心配はある。</p>	<p>のを公共として整備していこうという考えです。若年層を増やしていこうという考えは、総合戦略で考えています。この総合戦略は、ハード面ではなく子育て家庭に対する支援であったり、商店街の部分であれば、産業振興ビジョンというものを掲げながら、どのようにすれば空き店舗が埋まっていくのか、人通りが増えていくのかというものを考えています。5、6年先になって持つのかという考えであるが、人口の将来推計において、我々が建てようという施設については、この人口ビジョンに沿って推移していくのであれば持続可能と考えています。5、6年たったら立ちゆかなくなるというものではなく、この人口推移であれば対応可能と考えています。</p>
57	<p>人口増減について伺いたいですが、予想より1600人ほど減っているということであるが、15歳以下の人口の減り具合はどのようになっているのか。</p>	<p>平成29年までの5年間の間で15歳以下の子どもは15%ほど減っており、そのうち、ほとんど15歳以下の子どもが減っています。そこが非常に大きな問題点と考えています。しかしながら、今、増えているのは10歳以下の子どもと30代の子育て世代です。住宅の建て替え等のサイクルも関係してくると思われませんが、今後は、可能な限り15歳以下の人口が減らないように対応をしっかりしていきたいと考えています。</p>
58	<p>四條畷市の発展は、市長が最初に話されたように子育てしやすい、子どもが安心安全で過ごせるまちづくりしかないと思う。そのためには、地域のコミュニティの活性化が必要だと考える。しかし、地域自治会の役員の高齢化が進んでおり、事業の実施が困難になっている。各コミュニティが活性化しないと、全体として元気が出ないし、子育てにも通じていくと考えるが、その点についてどのように考えられているか。</p>	<p>自治会活動を通じて、地域が住みやすい環境に向けて活動されていることについては、市としても敬意を払うところであります。盆踊りなどで、地域住民がつながりを通じて安心、安全感につながっていきます。しかし、自治会内の構成であったり、運営についてのことについては、自治会の中で検討されるべき事柄かなと思いますので、市から自治会活動についてどうすべきかということをお願いする立場ではないと考えます。</p>
59	<p>自治会運営については自治会任せということで、市は干渉しないということか。</p>	<p>自治会ですので、自治会の中で検討すべきと考えます。区長会を通じて、それぞれの区長から話を聞きながら進めていますが、自治会役員だけではなく、市全体で高齢化が進んできているという状況であり、いろいろな課題があると認識していますが、いろいろな知恵を絞りながら活動していると区長の皆さんからは聞いています。</p>
60	<p>自治会役員からすれば、区長は忙しすぎると考える。こんなに忙しいなら区長のなり手がいない状況になる。市と</p>	<p>その課題については、市長としても十分に認識をしています。ある自治会では、30代の女性が区長をされてい</p>

	<p>しては区長をパイプ役として連携を取りやすいと考えていると思うが、例えば募金活動や福祉関係などの地域への要請などを行っているのはほとんどは区長が行っている。区長のなり手がなくなったらどのようになるのか。その点が心配である。</p>	<p>ますが、区長ひとりで仕事を引き受けるのではなく、副会長などと仕事を分散させることで、区長ひとりに係る負担を減らしていくという解決方法でやられている自治会もあります。です。区長に業務が集中するのか、または分散させるのかは、やはり自治会内で話し合うべきと考えます。</p>
61	<p>イオンが出来れば、市はよくなると聞いていたが、実際の効果はどうか</p>	<p>イオンが実際に砂地区に出来て、市の税収も増えているし、雇用面も増えています。今、四條畷に転入される方にアンケートを採っていますが、買い物に便利という声が多く、おそらくイオンのことではないかなと考えています。しかしながら、国の制度はうまく出来ており、普通の町というのは自前のお金だけでは運営できなくて、足らずは国から仕送りが入っています。市が自前で稼げるようになると、仕送りを引き上げられる構造になっています。実際の所、一定の収入は増えているので大きな効果はあると思います。</p>
62	<p>IRや企業誘致など夢のあるような話はあるのか。</p>	<p>四條畷市は基本的にはベッドタウンであり、宅地です。いろいろなものを建てられるエリアというのは限られています。また、市が持っている土地というのは限られているので、国道163号以北、国道170号以西地域の土地所有者の意向を確認しながら何らかの活用策がないかなどのお話を進めているところです。他のエリアについては、大きな施設誘致という土地はないと考えています。</p>
63	<p>第6章が説明も長く、資料を見てもわかりづらい。教育など施設機能別に整理していればさらに見やすくなったのでは。</p>	<p>そのとおりだと思います。最初、分かりやすい資料作りをした際に情報量が多すぎて資料のページ数や、説明の時間数が非常に多くなってしまいました。そこで、なるべく短時間で、多くのことを知っていただくために、資料を削ってきたという次第です。なぜ、この資料のような形になったかと申しますと、災害に強い安全なまちづくりという観点から非耐震施設や、整備が必要な施設、避難所がない地域など、分類ごとに分けさせていただいた次第です。</p> <p>今後、素案から計画に編集する際には、付属資料や、それぞれの施設がどういった施設なのかという説明なども付記させていただきます</p>
64	<p>特に若い世代において、ボランティアのなり手が少なくなっている状況であるが、その点はどのように考えて</p>	<p>各年代において生き方が多様化しており、かつてあったコミュニティがそのまま続けられるかという難しいと考</p>

	いるか。	ます。地域に憩えるような場所であったり、お祭りであったりは永続的に続いていくことによって安心して安全の町につながっていくと考えます。
65	この計画は、人口が減る、税収が減ると言うことを前提にしていると感じたが、この四條畷という町に生産年齢人口を増やせる可能性がある町だと思っている。インフラに関しては大阪東線も開通し、四條畷というのは利便性が非常に高いと感じている。縮小ではなく、これからこのようなことをしていながら四條畷の活性化につなげていってもらえればと思う。	直近10年間の人口推移を見ていただいたらわかるとおり、やはり四條畷自体は再評価されていると思います。昨年については人口が社会増となりました。利便性が高いのに地価が安い。そういう意味でも、四條畷は大阪府内では住みやすさで第2位になっていました。転入される方にアンケートを採っていますが、アクセスがいい、買い物が便利、地価もそんなに高くない、事故も犯罪も少ない等の理由が上がります。社会動態で入ってくる人を増やしていくんだと目標を掲げつつ、ハード面だけではなくソフト面の充実に力を入れて、人口を増やすことを進めています。ただ、好転していくことを前提に財政を組み立てて、計画通りに進まなかった時は破産してしまいます。お示しいただいたとおり、回復傾向にある人口増を続けていけるよう政策を進めていきたいと考えています。
66	第1案で全ての箱物を維持する場合は12億円とあるが、これは維持費であるのか。	改修等をするというもので必要な年平均額です。
67	くすの木園の跡地利用については、遊休地として置いておくのであれば、貸し花壇にしてはどうか。	四條畷市では、公園里親制度というものを10年以上前から行っています。苗木やスコップなどを貸し出し、その花壇などを利用してもらうものです。その制度を活用していただければきれいになると思います。
68	人口減少、税収減は致し方ないと思うが、空いた土地に企業を呼ぶなどの考えはないのか。	今回の計画においては、公共施設の再編でそのような話はしていませんが、本市の場合は地域的に考えても大きな企業を誘致出来る用地が限られており、砂地区や葎屋地区などの土地所有者の方とは随時、意見交換をさせていただきながら、土地を活用されていくのか考えていきたいです。しかし、市の保有地ではないので、あくまで土地所有者とお話をさせていただきながら民間企業誘致というものを進めていきたいと考えています。ただし、東小学校跡地については土砂災害警戒区域であり、周りは住宅地になっているので、そこに工場等を建設するというわけではないので、それは用途に合わせての考えになる。
69	資料の2029年時点と指示している箇所は10年以内に整備されると理解していいか。	そのとおりです。計画上では、10年以内に整備をしていこうと考えています。ただ、整備の時期や順番について

		は、その時々々の財政状況などによります。1つ決まっているのは、南中学校の跡地から整備を行うということです。
70	広域化という言葉を使っているが、広域化はどことどことの広域化を考えているのか。	場所や施設によりますが、環境センターですと広域化には2つ考え方があり、一つは四條畷市自体、人口が減ってきており、空き容量が生じているので、過去の経緯から今後、門真市から受け入れをさせていただくことによって、その代わりに利用料をいただく、収益を上げていくという考え方。もう一つは他市のものを一緒に使うという広域化。もっと人口が減ってきた際に、2市で行うのが適切なのか、3市がいいのか、4市でいいのかというのは、施設ごとに検討していく必要があります。広域化と書いているところは、本当に1市で持つのがいいのか、他市で共同利用するのは北河内7市を中心に議論していきながら広域化を図っていきたいと思います。
71	財政の問題が納得できない。起債で超過返済をしているというのは、全体を考えると超過返済している部分を当てられないという話にはならないと思うので、なぜそこまで厳しく見るのかなと思う。もう少し幅広く選択肢を考えていただきたい。その点において市民総合センターであるが、出来れば学識経験者、利用者、地域の方も含めて活性化委員会等を市として設置して、利用の仕方や設備の在り方、設置場所など総合的に検討するという中で見直していただきたい。併せて歴史民俗資料館においても市で一方的に決めるのではなく、どうあるのがいいのかと検討の場を持って結論を出していただきたい。専門の方や利用に係わっておられる方は知恵もあるし設備の在り方など、あまり拙速に決めてしまうのではなく十分に意見をくみ上げて決めていただきたい。特に四條畷で文化的に中心となるものは、市民の情報発信という点か市民総合センター、歴史民俗資料館になると思うのでよろしく願いたい。	国道163号とJRの交差するところが西部地域の中心になると考えています。なるべく多くの皆さんがアクセスしやすい、コンパクトシティとして集約していく上では、なるべく中心のエリアで市民総合センターを設置することを考えています。平成27年から事業着手して、2000人に対するアンケートを市民の皆さんに実施させていただき、ワークショップは平成28年と30年と実施させていただいて、この意見交換会も20回目となります。いろいろな方の意見も聞かせてもらいながら、教育委員会の意見も聞きつつ、関係機関との協議も進めているところです。そうした中、早く決めてほしい、もう少し丁寧に進めてほしい等様々な意見はありますが、実際には非耐震施設の5施設については、今回の台風等で非常に影響が出てきており、一刻も早く対応しないと行けない施設があることも現実と考えます。両方の意見を聞きながら最終の判断をさせていただこうと考えています。
72	コミュニティバスの停留所が分かりにくいのが、どういうルートで走っているのか。	田原地区には、近辺に駅がないのでその地域を重点に運行ルートを整備しています。ただし、通勤・通学の時



		<p>間帯の利用率だけが高い為、その時間帯以外の運行ルートは主に西部地域を走っています。しかし西部地域のコミュニティバスの利用率は低くなっています。四條畷市の抱える課題として、バスが走るには向いていない細い道路が多いことです。そこで平成 29 年度から地域住民の方々と話し合いの場を設けて、今年度から試運転等を含めて動き出す予定です。</p>
73	<p>旧四條畷荘の跡地については未だに空き地になっているが、活用は何か考えているのか。</p>	<p>今ある財産は、この計画が立て終わるまでは、ご意見を聞く中で変わり得る可能性があるため、一旦売却することをやめています。この計画自体が本年8月ごろの策定をめざしているため、策定でき次第、この売却と書かせてもらってる分については順に売りに出していくような考えです。</p>
74	<p>公共施設の再編で田原地区にどのような影響があるのか。</p>	<p>田原台のアカカベ周辺には、市有地がありません。2022年3月にアカカベの契約が切れるので、そのタイミングを捉えて、アカカベ横の空き地を含めて利用し、生鮮食品の販売や、人々が集える空間の確保ができないかという方向性で動いています。ただし、市の財政だけでは賄えないので、民間企業と連携を図れるように頑張りたいと考えています。</p>
75	<p>田原台中心部の商業施設部分に、商業施設だけではなく、医療施設や図書館、道の駅なども考えられないか。</p>	<p>短期的な面で商業施設の整備が優先です。医療機関については、医療施設を展開しやすいように、田原支所を中心に情報整理を行っているところです。</p>